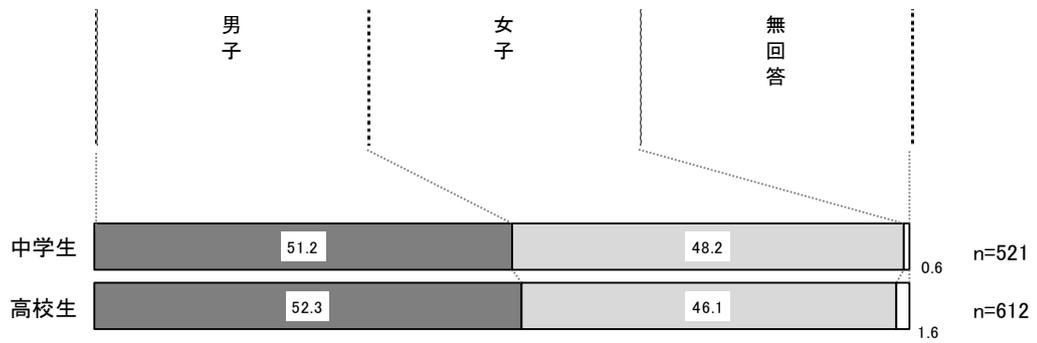

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

1 回答者の属性

<性別>

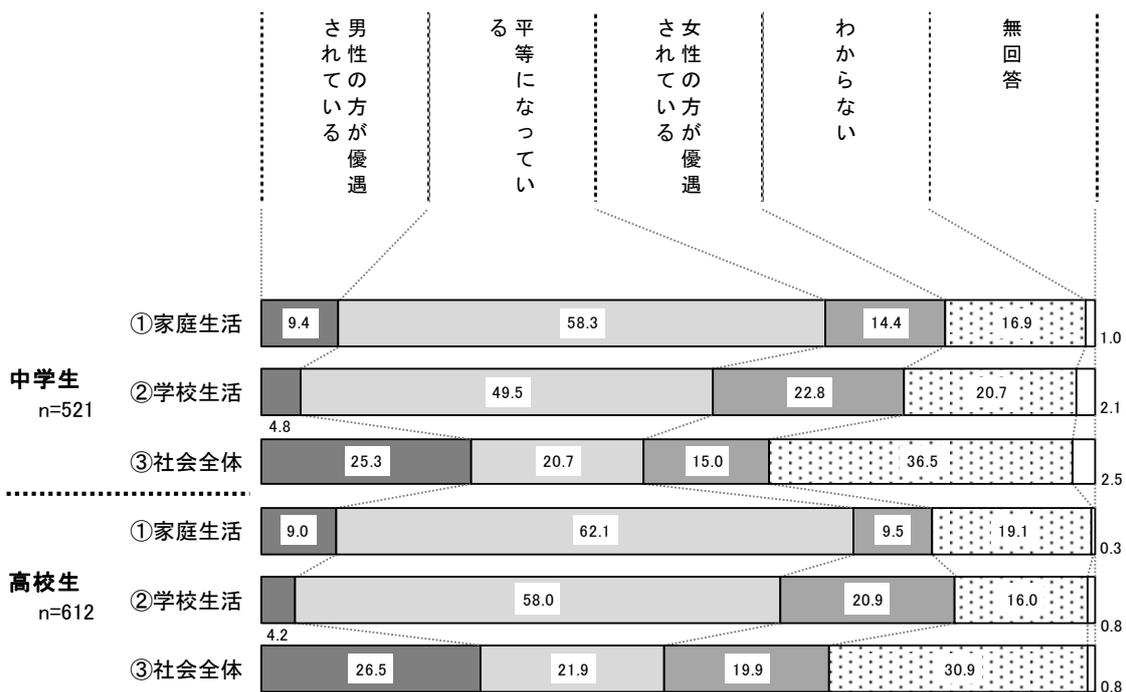


2 男女平等について

2-1 家庭・学校・社会における男女の平等

問2 あなたは、現在、生活の中で男女は平等になっていると思いますか。次の①から③の分野についてそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆「平等になっている」は中学生は「家庭生活」で約6割、「学校生活」で約5割、高校生は「家庭生活」で6割強、「学校生活」で6割弱



【全体】(①~③)

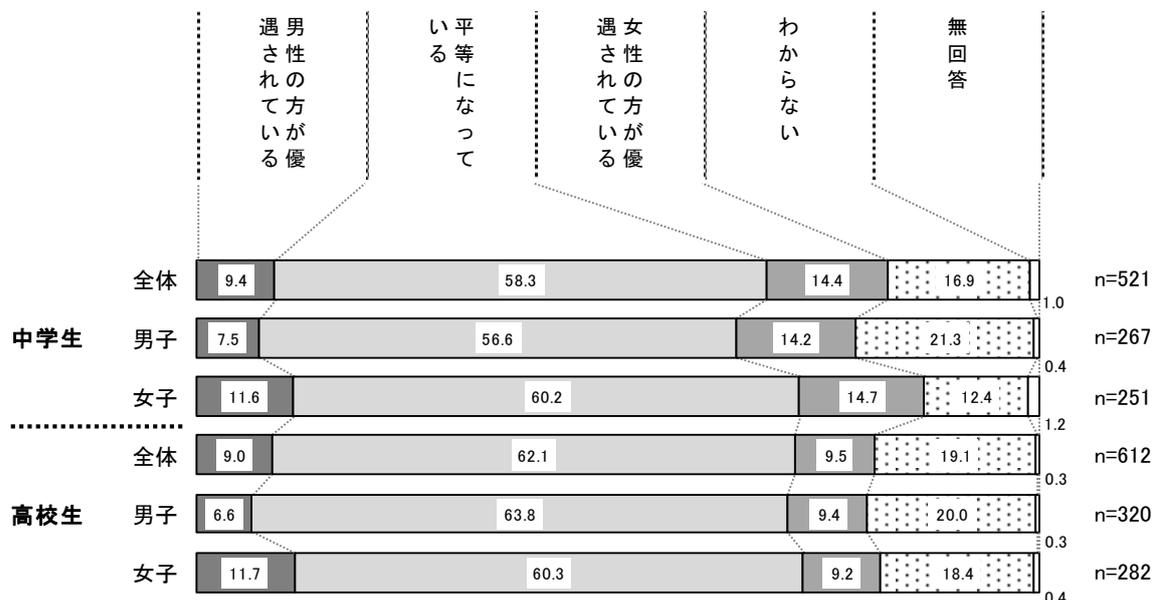
「男性の方が優遇されている」と答えた生徒は、中学生・高校生ともに、「社会全体」が約25%となっています。

「女性の方が優遇されている」と答えた生徒は、中学生は「学校生活」(22.8%)、高校生は「学校生活」(20.9%)、「社会全体」(19.9%)が約20%となっています。

中学生・高校生ともに、「学校生活」は「女性の方が優遇されている」が「男性の方が優遇されている」より高く、「社会全体」は「男性の方が優遇されている」が「女性の方が優遇されている」より高くなっています。

<①家庭生活>

◆「平等になっている」は中学生で6割弱、高校生で6割強



【中学生】

「平等になっている」は58.3%、「女性の方が優遇されている」は14.4%となっています。性別でみると、女子は「男性の方が優遇されている」(11.6%)が男子(7.5%)より若干高くなっています。

【高校生】

「平等になっている」は62.1%、「女性の方が優遇されている」は9.5%となっています。性別でみると、女子は「男性の方が優遇されている」(11.7%)が男子(6.6%)より5.1ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「女性の方が優遇されている」(14.4%)が高校生(9.5%)より若干高くなっています。

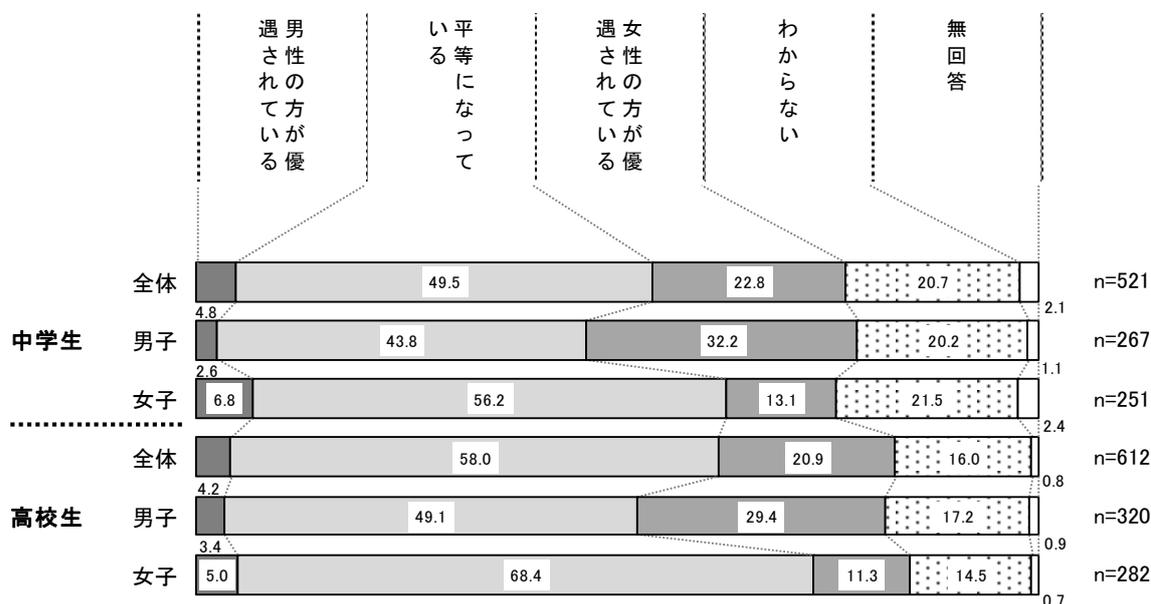
【一般市民との比較】

中学生・高校生は「平等になっている」が約6割で、一般市民は3割弱となっています。一般市民は『男性優遇』が5割以上で、中学生・高校生は1割未満となっています。

	中学生	高校生	一般市民
『男性優遇』	9.4%	9.0%	54.3%
平等になっている、平等である	58.3%	62.1%	28.9%
『女性優遇』	14.4%	9.5%	8.6%
わからない	16.9%	19.1%	6.0%

<②学校生活>

- ◆「平等になっている」は中学生で約5割、高校生で6割弱
- ◆中学生・高校生の男子で「女性の方が優遇されている」が約3割



【中学生】

「平等になっている」は49.5%、「女性の方が優遇されている」は22.8%となっています。性別でみると、男子は「女性の方が優遇されている」(32.2%)が女子(13.1%)より19.1ポイント高くなっています。

【高校生】

「平等になっている」は58.0%、「女性の方が優遇されている」は20.9%となっています。性別でみると、男子は「女性の方が優遇されている」(29.4%)が女子(11.3%)より18.1ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生は「平等になっている」(58.0%)が中学生(49.5%)より8.5ポイント高くなっています。

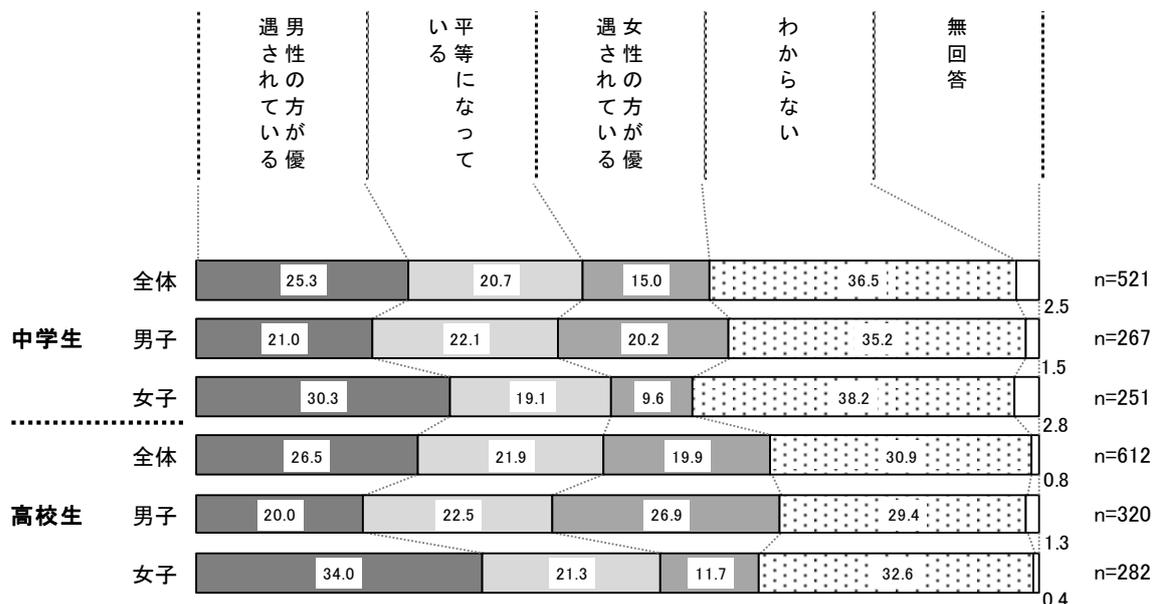
【一般市民との比較】

中学生・高校生は『女性優遇』が約2割で、一般市民は1割未満となっています。一般市民は『男性優遇』が1割以上で、中学生・高校生は1割未満となっています。

	中学生	高校生	一般市民
『男性優遇』	4.8%	4.2%	14.0%
平等になっている、平等である	49.5%	58.0%	60.5%
『女性優遇』	22.8%	20.9%	3.8%
わからない	20.7%	16.0%	19.2%

<③社会全体>

◆中学生・高校生ともに「男性の方が優遇されている」が「平等になっている」を上回っている



【中学生】

「男性の方が優遇されている」が25.3%、「平等になっている」が20.7%となっています。性別でみると、女子は「男性の方が優遇されている」(30.3%)が男子(21.0%)より9.3ポイント高くなっています。

【高校生】

「男性の方が優遇されている」が26.5%、「平等になっている」が21.9%となっています。性別でみると、男子は「女性の方が優遇されている」(26.9%)が女子(11.7%)より15.2ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生の男子は「女性の方が優遇されている」(26.9%)が中学生の男子(20.2%)より6.7ポイント高くなっています。

【一般市民との比較】

中学生・高校生は「わからない」が3割以上で、一般市民は1割未満となっています。一般市民は『男性優遇』が7割以上で、中学生・高校生は2割台となっています。

	中学生	高校生	一般市民
『男性優遇』	25.3%	26.5%	74.8%
平等になっている、平等である	20.7%	21.9%	12.1%
『女性優遇』	15.0%	19.9%	5.3%
わからない	36.5%	30.9%	6.1%

【前回調査との比較】

●「平等になっている」の割合

前回調査と比べて、中学生は「家庭生活」、「学校生活」で、高校生は「家庭生活」でそれぞれ若干増加しています。

(%)

		①家庭生活	②学校生活	③社会全体
中学生	平成 28 年	58.3	49.5	20.7
	平成 22 年	48.8	44.0	25.2
	差	9.5	5.5	-4.5
高校生	平成 28 年	62.1	58.0	21.9
	平成 22 年	56.0	57.4	22.2
	差	6.1	0.6	-0.3

●「女性の方が優遇されている」の割合

中学生は3分野すべてで、高校生は「学校生活」、「社会全体」で増加しています。特に「社会全体」では中学生・高校生ともに約 10 ポイント増加しています。

(%)

		①家庭生活	②学校生活	③社会全体
中学生	平成 28 年	14.4	22.8	15.0
	平成 22 年	9.3	13.6	5.2
	差	5.1	9.2	9.8
高校生	平成 28 年	9.5	20.9	19.9
	平成 22 年	9.5	12.9	8.9
	差	0.0	8.0	11.0

●「男性の方が優遇されている」の割合

中学生は「社会全体」で若干増加しており、他は若干減少しています。

(%)

		①家庭生活	②学校生活	③社会全体
中学生	平成 28 年	9.4	4.8	25.3
	平成 22 年	13.1	7.0	17.7
	差	-3.7	-2.2	7.6
高校生	平成 28 年	9.0	4.2	26.5
	平成 22 年	13.7	4.4	31.5
	差	-4.7	-0.2	-5.0

3 日常生活について

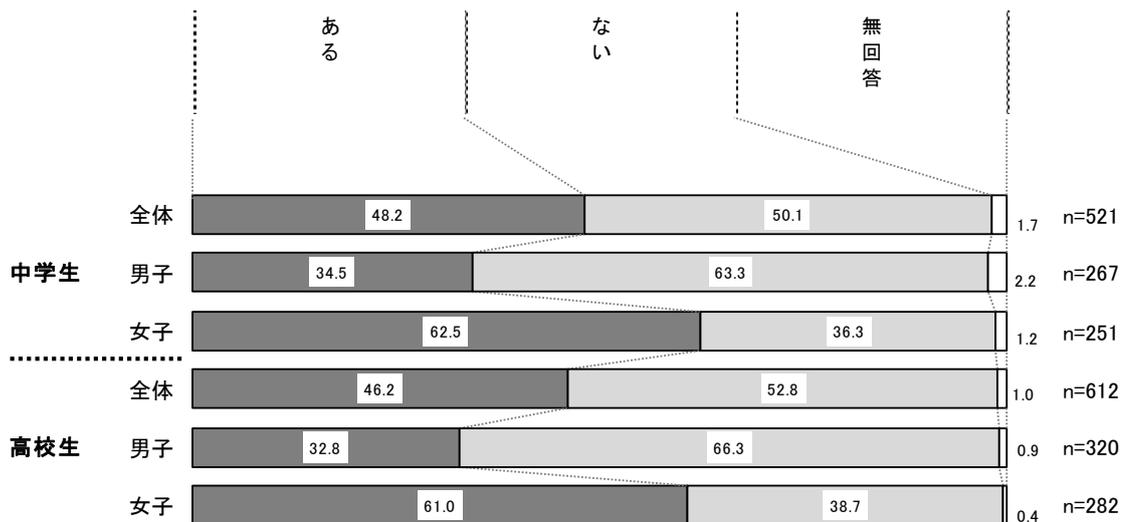
3-1 「女らしくしなさい」「男らしくしなさい」と言われることについて

問3 あなたは今までに、「女らしくしなさい」「男らしくしなさい」と言われたたことがありますか。(1つに○印)

◆言われたことが「ある」は中学生 48.2%、高校生 46.2%

◆前回調査と比べて、中学生・高校生ともに、言われたことが「ある」が若干増加

	中学生			高校生		
	平成 28 年	平成 22 年	平成 18 年	平成 28 年	平成 22 年	平成 18 年
ある	48.2%	43.5%	33.5%	46.2%	42.0%	39.2%
ない	50.1%	54.7%	65.8%	52.8%	57.4%	60.2%



【中学生】

「ある」が48.2%、「ない」が50.1%となっています。

性別でみると、女子は「ある」(62.5%)が、男子は「ない」(63.3%)が、それぞれ60%以上と高くなっています。

【高校生】

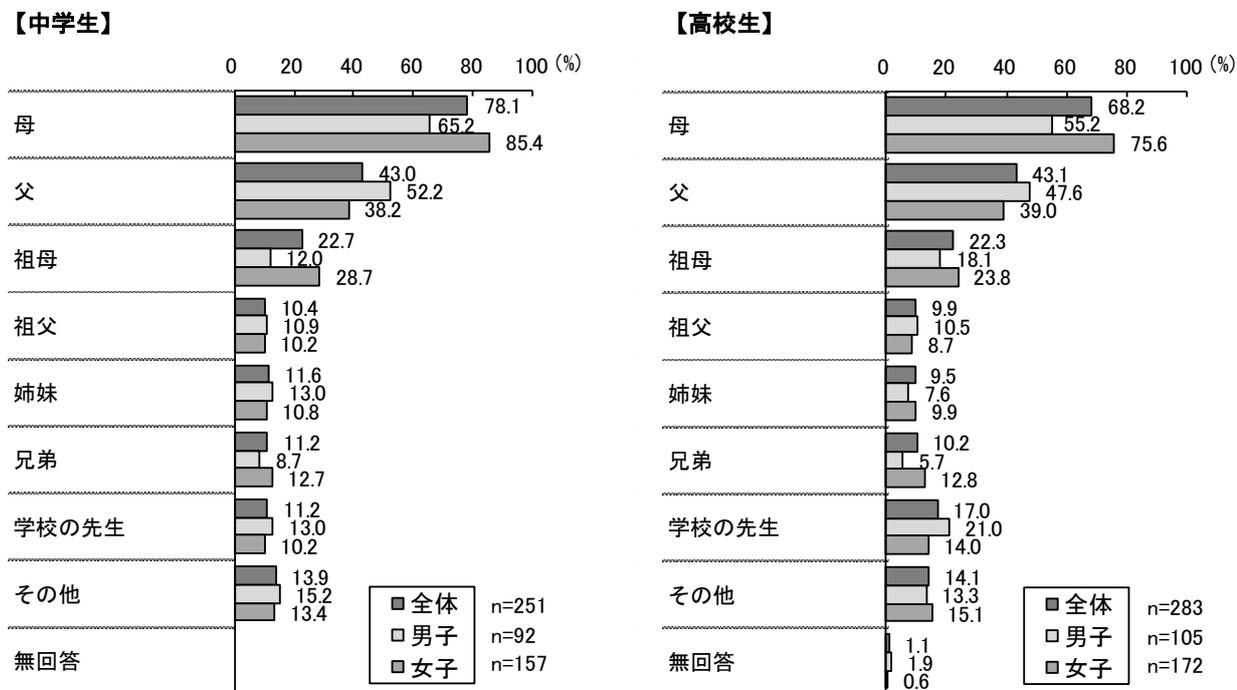
「ある」が46.2%、「ない」が52.8%となっています。

性別でみると、女子は「ある」(61.0%)が、男子は「ない」(66.3%)が、それぞれ60%以上と高くなっています。

問3で、「1 ある」と回答した方におたずねします。

問3(1) それは誰に言われましたか。(あてはまるものすべてに○印)

◆「母」が中学生で約8割、高校生で約7割



【中学生】

「母」(78.1%)が最も高く、次いで「父」(43.0%)、「祖母」(22.7%)が高くなっています。

性別でみると、女子は「母」(85.4%)が男子(65.2%)より20.2ポイント高く、男子は「父」(52.2%)が女子(38.2%)より14.0ポイント高くなっています。

【高校生】

「母」(68.2%)が最も高く、次いで「父」(43.1%)、「祖母」(22.3%)が高くなっています。

性別でみると、女子は「母」(75.6%)が男子(55.2%)より20.4ポイント高く、男子は「父」(47.6%)が女子(39.0%)より8.6ポイント高くなっています。

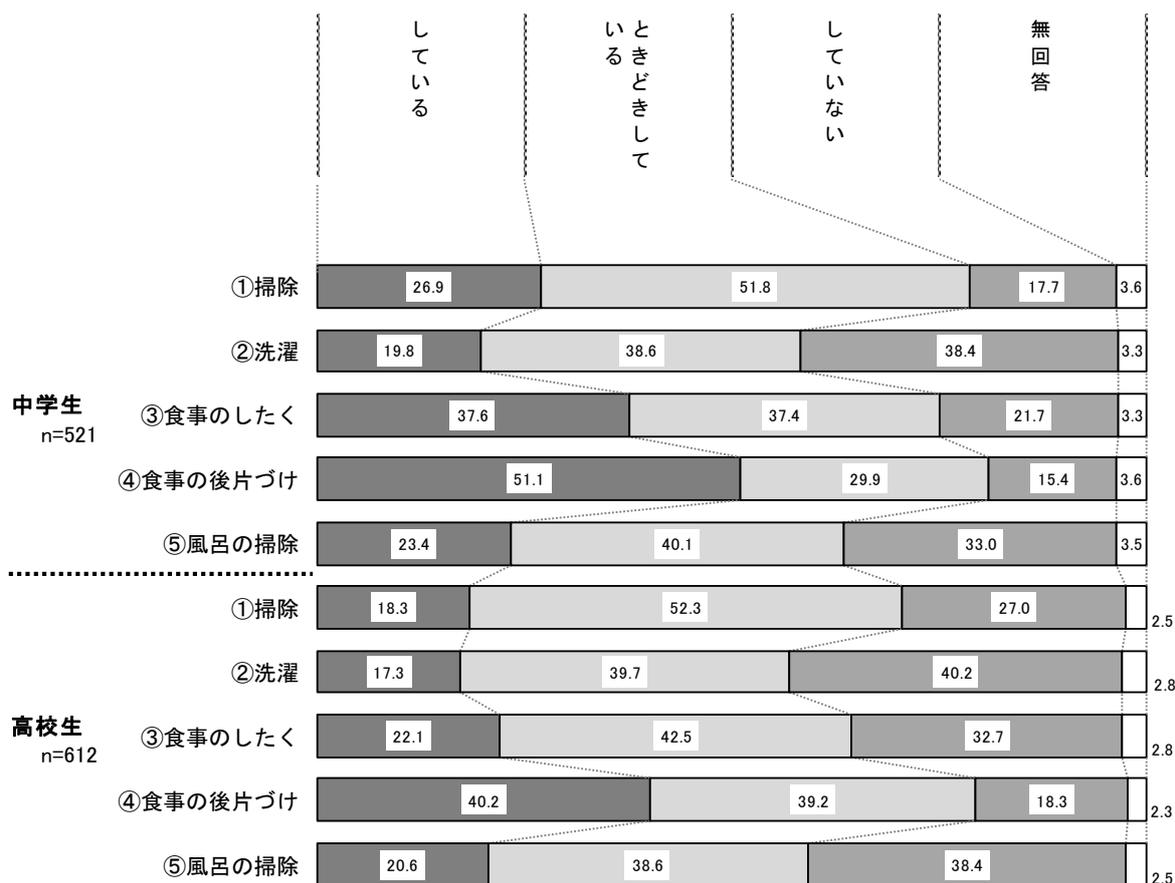
【中学生・高校生別】

中学生は「母」(78.1%)が高校生(68.2%)より9.9ポイント高くなっています。

3-2 家庭内での手伝いの状況

問4 あなたは、次のような手伝いをしていますか。次の①～⑤についてそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆手伝いを「している」は中学生・高校生ともに「食事の後片づけ」で高い



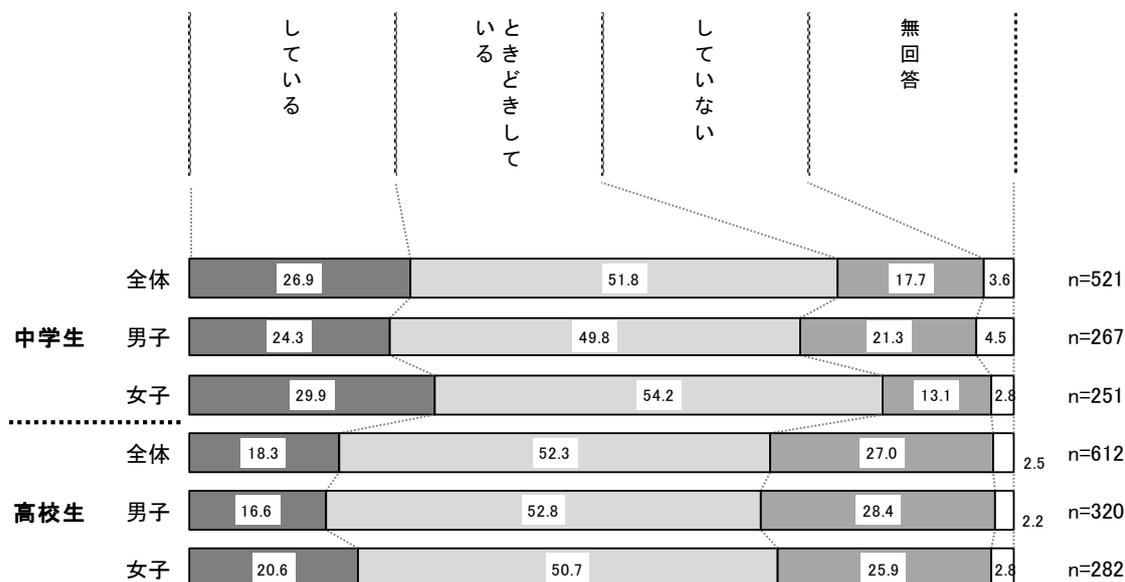
【全体】(①～⑤)

「している」と答えた生徒は、中学生・高校生ともに「食事の後片づけ」(中学生 51.1%、高校生 40.2%)で最も高く、次いで「食事のしたく」で高くなっています。一方、「していない」と答えた生徒は、中学生・高校生ともに「洗濯」(中学生 38.4%、高校生 40.2%)で最も高く、次いで「風呂の掃除」、「食事のしたく」、「掃除」の順で高くなっています。

いずれの項目についても、「している」は中学生より高校生の方が低く、「していない」は中学生より高校生の方が高くなっています。特に「食事のしたく」では中学生(37.6%)と高校生(22.1%)の「している」の差が15.5ポイントと大きくなっています。

<①掃除>

◆掃除を「している」は中学生 26.9%、高校生 18.3%



【中学生】

「ときどきしている」(51.8%) が最も高く、次いで「している」(26.9%) が高くなっています。

性別でみると、女子は「している」(29.9%) が男子(24.3%) より 5.6 ポイント高くなっています。

【高校生】

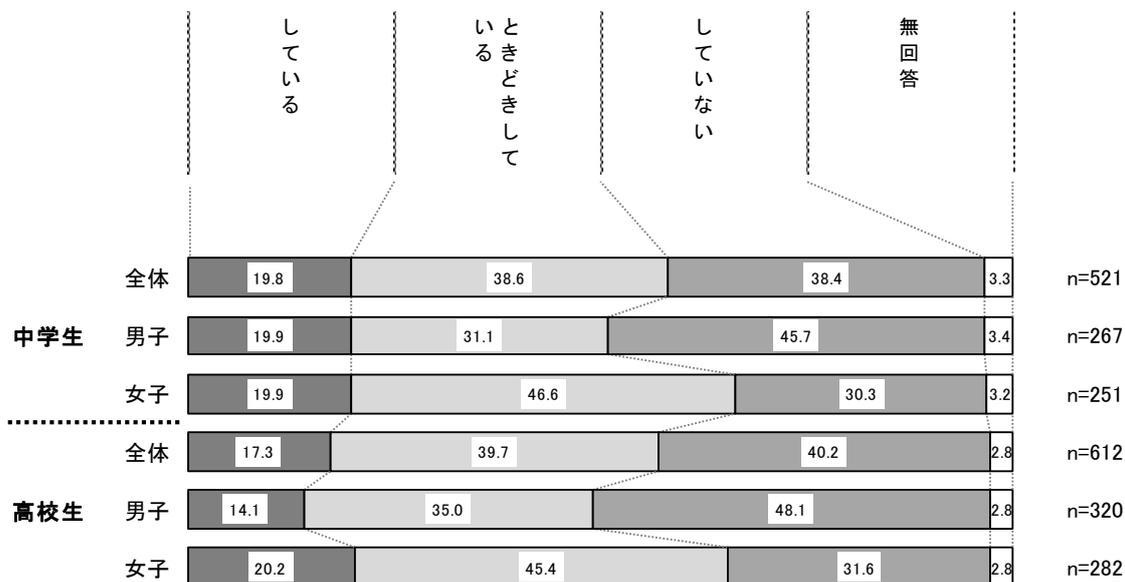
「ときどきしている」(52.3%) が最も高く、次いで「していない」(27.0%) が高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生は「していない」(27.0%) が中学生(17.7%) より 9.3 ポイント高くなっています。

<②洗濯>

◆洗濯を「している」は中学生 19.8%、高校生 17.3%



【中学生】

「ときどきしている」(38.6%)、「していない」(38.4%) がともに高くなっています。
性別でみると、女子は「ときどきしている」(46.6%) が男子(31.1%) より 15.5 ポイント高くなっています。

【高校生】

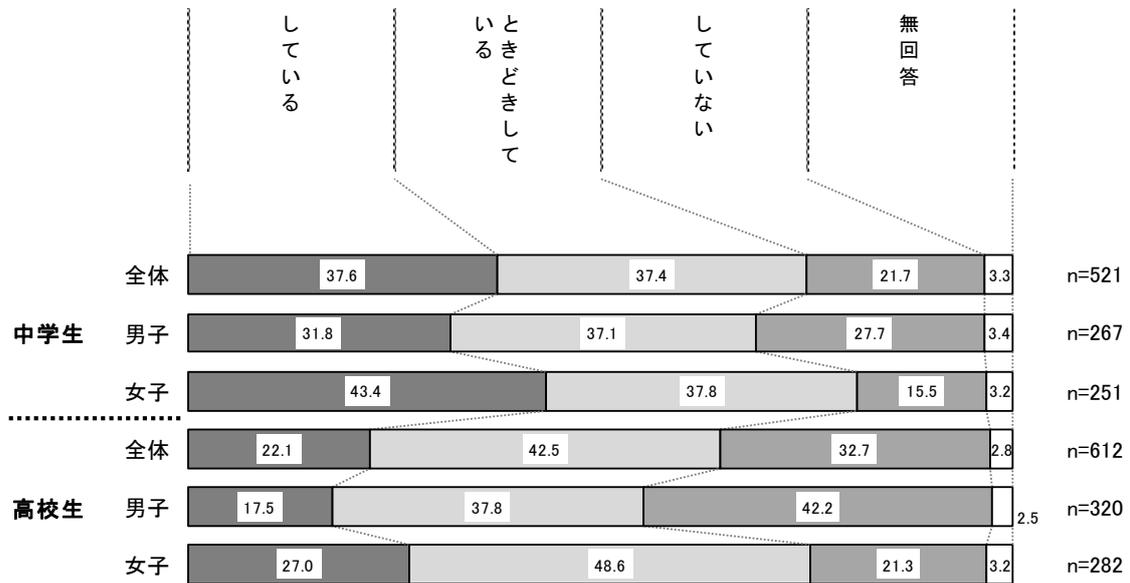
「ときどきしている」(39.7%)、「していない」(40.2%) がともに高くなっています。
性別でみると、女子は「ときどきしている」(45.4%) が男子(35.0%) より 10.4 ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生の男子は「している」(19.9%) が高校生の男子(14.1%) より 5.8 ポイント高くなっています。

<③食事のしたく>

◆食事のしたくを「している」は中学生 37.6%、高校生 22.1%



【中学生】

「している」(37.6%)、「ときどきしている」(37.4%) がともに高くなっています。
性別でみると、女子は「している」(43.4%) が男子(31.8%) より 11.6 ポイント高くなっています。

【高校生】

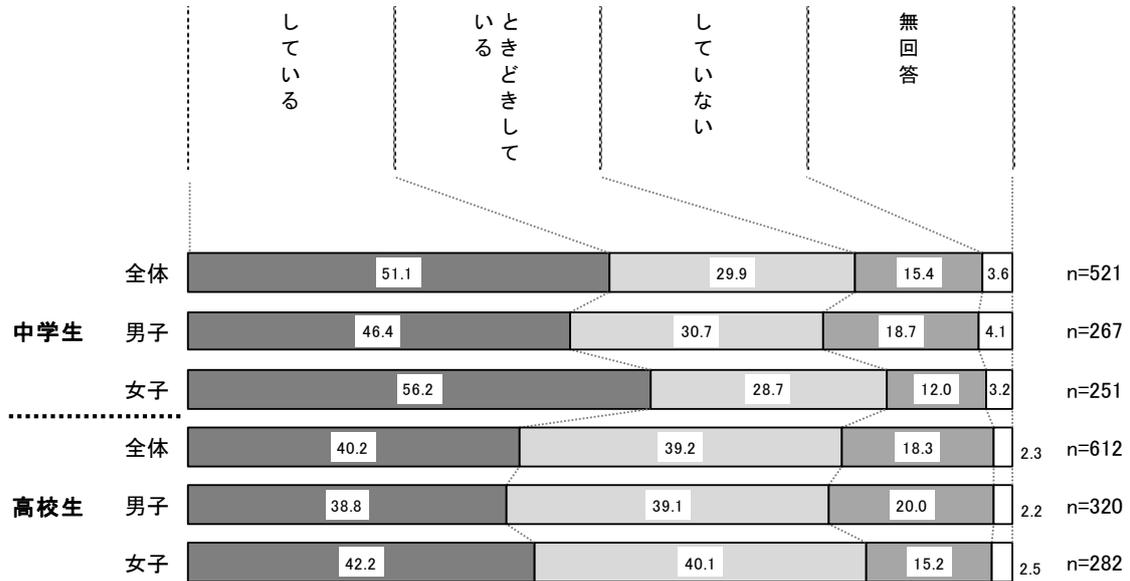
「ときどきしている」(42.5%) が最も高く、次いで「していない」(32.7%) が高くなっています。
性別でみると、女子は「ときどきしている」(48.6%) が男子(37.8%) より 10.8 ポイント高く、「している」(27.0%) も男子(17.5%) より 9.5 ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生は「していない」(32.7%) が中学生(21.7%) より 11.0 ポイント高く、特に男子(42.2%) は中学生の男子(27.7%) より 14.5 ポイント高くなっています。

<④食事の後片づけ>

◆食事の後片づけを「している」は中学生 51.1%、高校生 40.2%



【中学生】

「している」(51.1%) が最も高く、次いで「ときどきしている」(29.9%) が高くなっています。

性別でみると、女子は「している」(56.2%) が男子(46.4%) より 9.8 ポイント高くなっています。

【高校生】

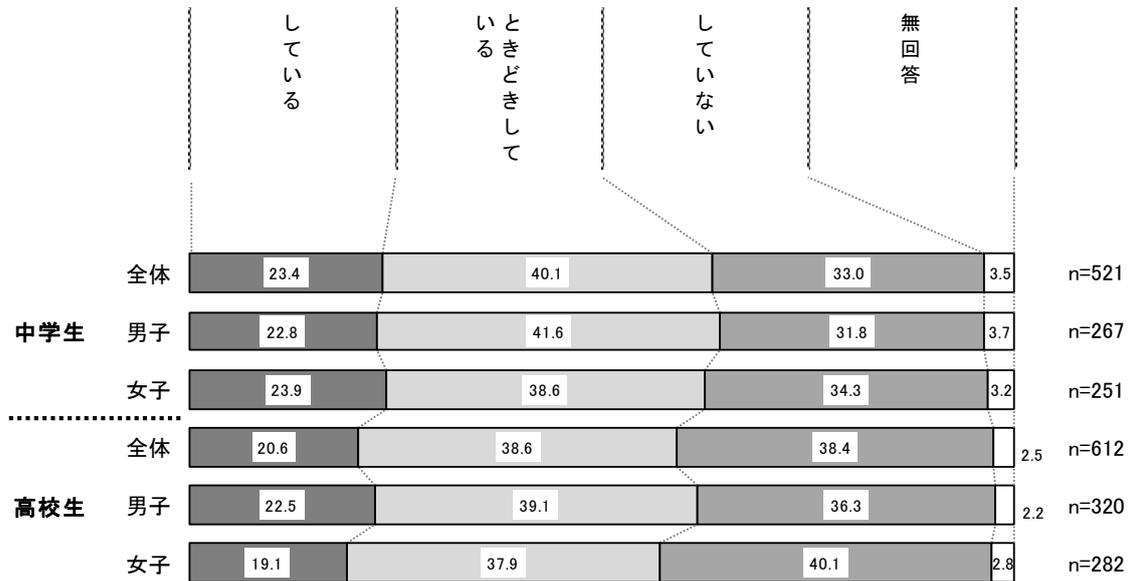
「している」(40.2%) と「ときどきしている」(39.2%) がともに高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「している」(51.1%) が高校生(40.2%) より 10.9 ポイント高く、高校生は「ときどきしている」(39.2%) が中学生(29.9%) より 9.3 ポイント高くなっています。

<⑤風呂の掃除>

◆風呂の掃除を「している」は中学生 23.4%、高校生 20.6%



【中学生】

「ときどきしている」(40.1%) が最も高く、次いで「していない」(33.0%) が高くなっています。

【高校生】

「ときどきしている」(38.6%) と「している」(38.4%) がともに高くなっています。

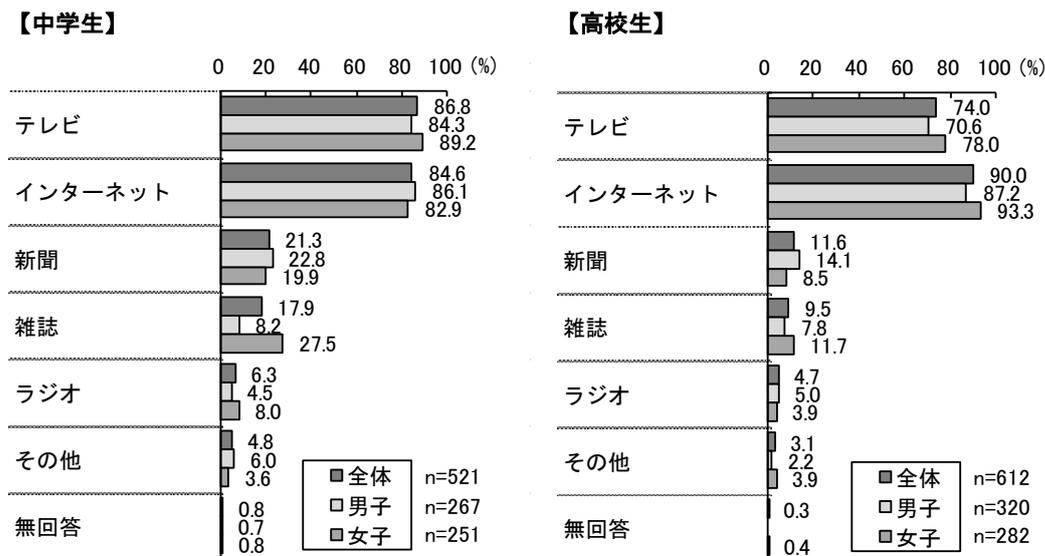
【中学生・高校生別】

高校生は「していない」(38.4%) が中学生(33.0%) より 5.4 ポイント高くなっています。

3-3 情報源としているメディア

問5 次のメディアの中で、あなたが情報を多く得ているのはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

◆中学生は「テレビ」「インターネット」が8割強、高校生は「インターネット」が9割で「テレビ」が7割強



【中学生】

「テレビ」(86.8%)、「インターネット」(84.6%) がともに 80%以上と高くなっています。

性別で見ると、女子は「雑誌」(27.5%) が男子(8.2%) より 19.3 ポイント高くなっています。

【高校生】

「インターネット」(90.0%) が最も高く、次いで「テレビ」(74.0%) が高くなっています。

性別で見ると、女子は「インターネット」、「テレビ」がともに男子より若干高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「テレビ」、「新聞」が高校生より約 10 ポイント高くなっています。

3-4 日常生活における男女の役割分担について

問6 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。次の①～④についてそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

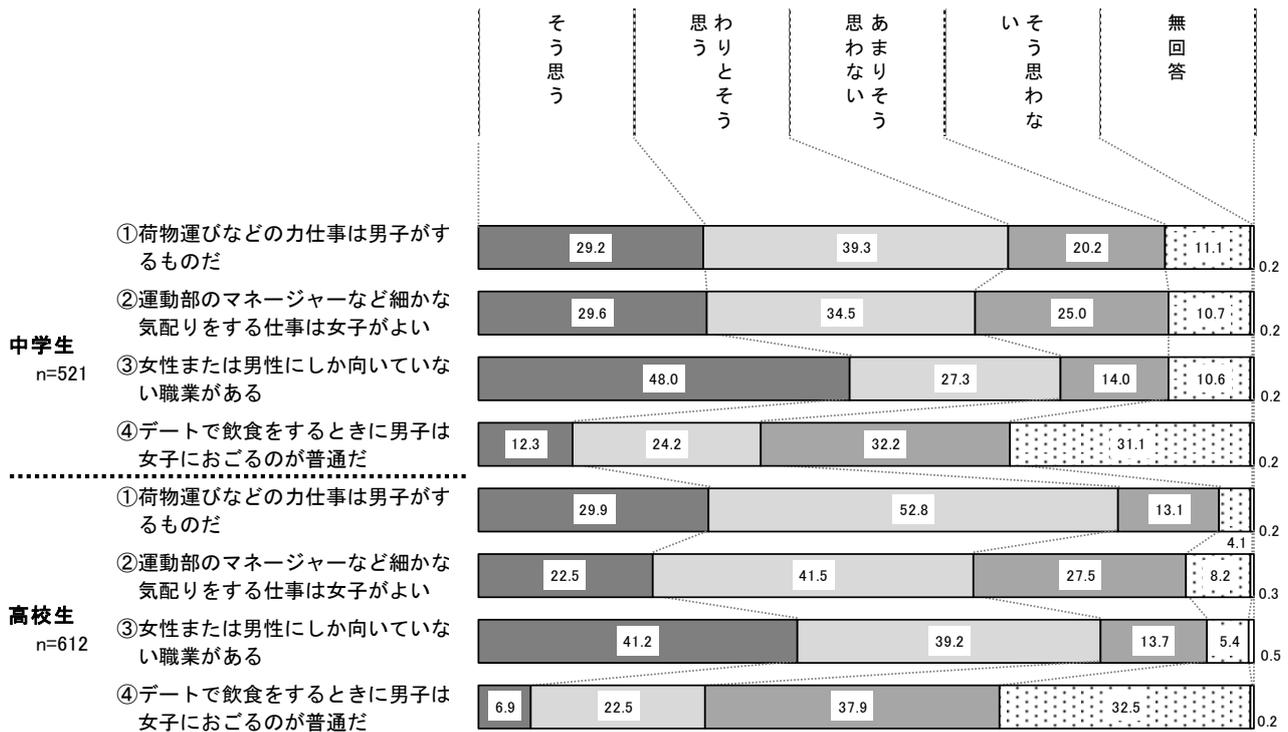
◆「デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ」について『概ねそう思わない』は中学生で6割強、高校生で約7割

	①荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ	②運動部のマネージャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい	③女性または男性にか向いていない職業がある	④デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ
中学生				
『概ねそう思う』	68.5%	64.1%	75.3%	36.5%
そう思う	29.2%	29.6%	48.0%	12.3%
わりとそう思う	39.3%	34.5%	27.3%	24.2%
『概ねそう思わない』	31.3%	35.7%	24.6%	63.3%
あまりそう思わない	20.2%	25.0%	14.0%	32.2%
そう思わない	11.1%	10.7%	10.6%	31.1%

	①荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ	②運動部のマネージャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい	③女性または男性にか向いていない職業がある	④デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ
高校生				
『概ねそう思う』	82.7%	64.0%	80.4%	29.4%
そう思う	29.9%	22.5%	41.2%	6.9%
わりとそう思う	52.8%	41.5%	39.2%	22.5%
『概ねそう思わない』	17.2%	35.7%	19.1%	70.4%
あまりそう思わない	13.1%	27.5%	13.7%	37.9%
そう思わない	4.1%	8.2%	5.4%	32.5%

『概ねそう思う』…「そう思う」と「わりとそう思う」を合算

『概ねそう思わない』…「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合算



【中学生】(①～④)

『概ねそう思う』は、「デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ」(36.5%) 以外は 60%以上となっており、特に「女性または男性にしか向いていない職業がある」(75.3%) が高くなっています。

【高校生】(①～④)

『概ねそう思う』は「デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ」(29.4%) 以外は 60%以上となっており、特に「荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ」(82.7%) が高くなっています。

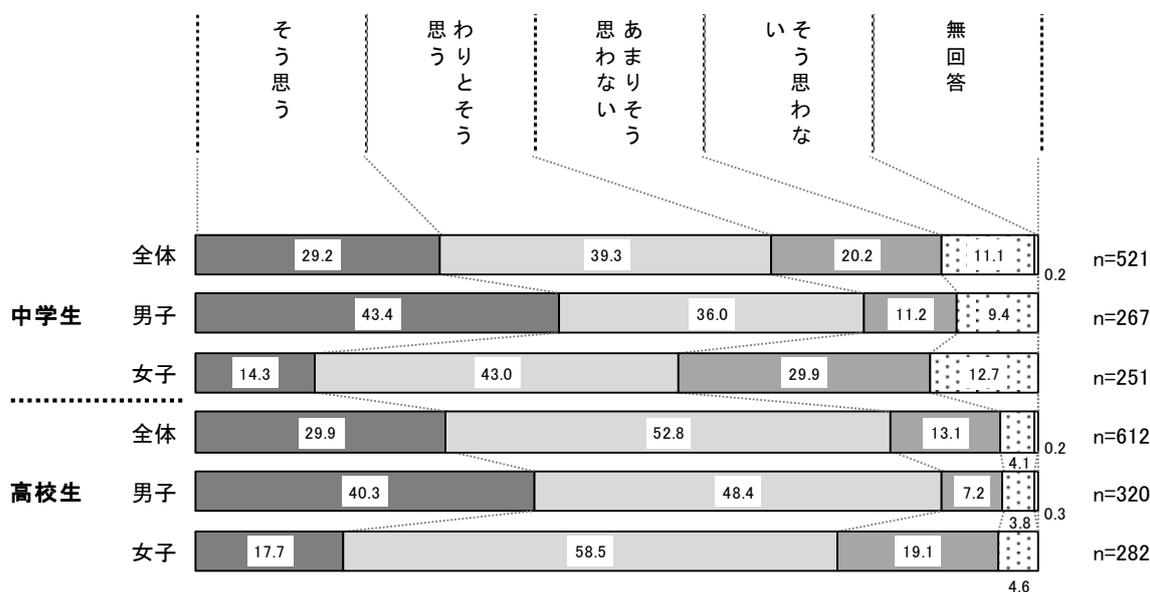
<①荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ>

◆『概ねそう思う』は中学生 68.5%、高校生 82.7%

◆前回調査と比べて、『概ねそう思う』は高校生で約 10 ポイント増加

	中学生		高校生	
	平成 28 年	平成 22 年	平成 28 年	平成 22 年
『概ねそう思う』	68.5%	67.9%	82.7%	73.1%
そう思う	29.2%	22.0%	29.9%	20.6%
わりとそう思う	39.3%	45.9%	52.8%	52.5%
『概ねそう思わない』	31.3%	30.6%	17.2%	26.4%
あまりそう思わない	20.2%	11.6%	13.1%	10.2%
そう思わない	11.1%	19.0%	4.1%	16.2%

「わりとそう思う」（平成 22 年）…「わりとそう思う」と「少しそう思う」を合算



【中学生】

「わりとそう思う」（39.3%）が最も高く、次いで「そう思う」（29.2%）が高くなっており、『概ねそう思う』は 68.5%となっています。

性別で見ると、男子は「そう思う」（43.4%）が女子（14.3%）より 29.1 ポイント高くなっています。女子は「あまりそう思わない」（29.9%）が男子（11.2%）より 18.7 ポイント高くなっています。

【高校生】

「わりとそう思う」（52.8%）が最も高く、次いで「そう思う」（29.9%）が高くなっており、『概ねそう思う』は 82.7%となっています。

性別で見ると、男子は「そう思う」（40.3%）が女子（17.7%）より 22.6 ポイント高くなっています。女子は「あまりそう思わない」（19.1%）が男子（7.2%）より 11.9 ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

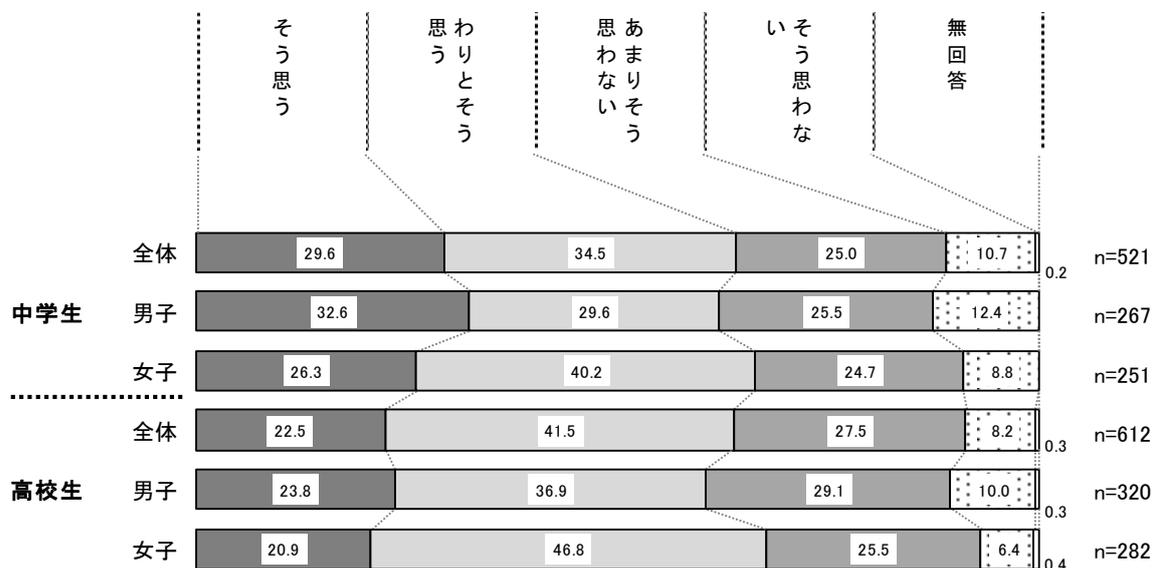
高校生は『概ねそう思う』（82.7%）が中学生（68.5%）より 14.2 ポイント高く、特に女子（76.2%）は中学生の女子（57.3%）より 18.9 ポイント高くなっています。

<②運動部のマネージャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい>

◆『概ねそう思う』は中学生 64.1%、高校生 64.0%

◆前回調査と比べて、『概ねそう思わない』は高校生で約8ポイント増加

	中学生		高校生	
	平成 28 年	平成 22 年	平成 28 年	平成 22 年
『概ねそう思う』	64.1%	61.6%	64.0%	71.7%
そう思う	29.6%	23.1%	22.5%	30.6%
わりとそう思う	34.5%	38.5%	41.5%	41.1%
『概ねそう思わない』	35.7%	36.8%	35.7%	27.8%
あまりそう思わない	25.0%	16.6%	27.5%	12.7%
そう思わない	10.7%	20.2%	8.2%	15.1%



【中学生】

「わりとそう思う」(34.5%)が最も高く、次いで「そう思う」(29.6%)が高くなっており、『概ねそう思う』は64.1%となっています。

性別でみると、男子は「そう思う」(32.6%)が女子(26.3%)より6.3ポイント高く、女子は『概ねそう思う』(66.5%)が男子(62.2%)より4.3ポイント高くなっています。

【高校生】

「わりとそう思う」(41.5%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(27.5%)が高くなっています。『概ねそう思う』は64.0%となっています。

性別でみると、女子は『概ねそう思う』(67.7%)が男子(60.7%)より7.0ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

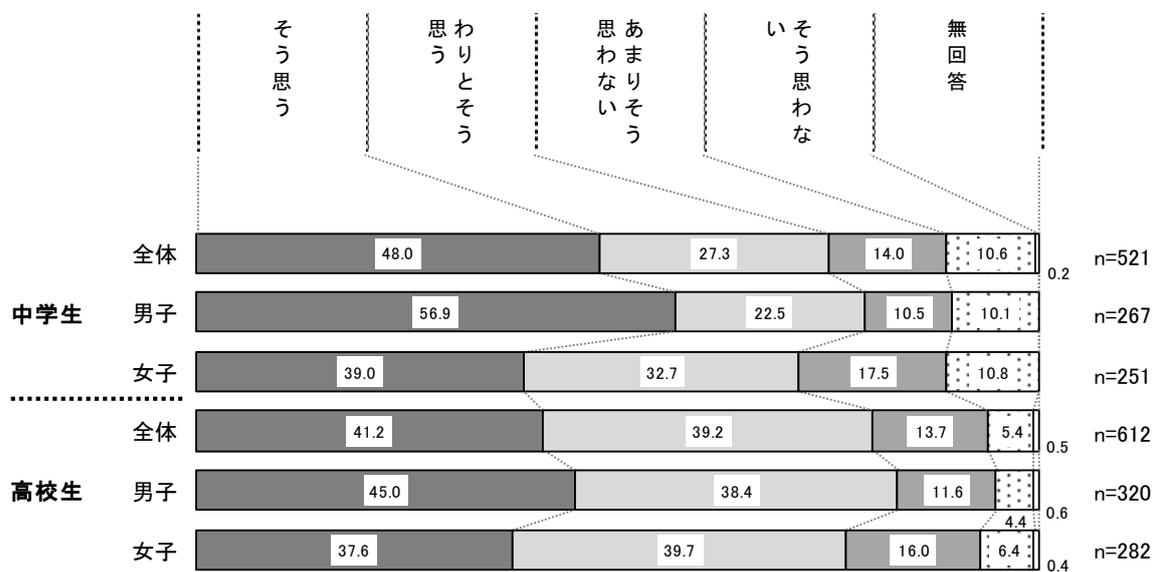
中学生は「そう思う」(29.6%)が高校生(22.5%)より7.1ポイント高く、特に男子(32.6%)は高校生の男子(23.8%)より8.8ポイント高くなっています。

<③女性または男性にしか向いていない職業がある>

◆『概ねそう思う』は中学生 75.3%、高校生 80.4%

◆前回調査と比べて、『概ねそう思わない』は中学生・高校生ともに微増

	中学生		高校生	
	平成 28 年	平成 22 年	平成 28 年	平成 22 年
『概ねそう思う』	75.3%	77.1%	80.4%	83.9%
そう思う	48.0%	37.5%	41.2%	41.2%
わりとそう思う	27.3%	39.6%	39.2%	42.7%
『概ねそう思わない』	24.6%	21.5%	19.1%	15.3%
あまりそう思わない	14.0%	6.4%	13.7%	6.7%
そう思わない	10.6%	15.1%	5.4%	8.6%



【中学生】

「そう思う」(48.0%) が最も高く、次いで「わりとそう思う」(27.3%) が高くなっており、『概ねそう思う』は 75.3% となっています。

性別でみると、男子は「そう思う」(56.9%) が女子 (39.0%) より 17.9 ポイント高くなっています。

【高校生】

「そう思う」(41.2%) が最も高く、次いで「わりとそう思う」(39.2%) が高くなっており、『概ねそう思う』は 80.4% となっています。

性別でみると、男子は「そう思う」(45.0%) が女子 (37.6%) より 7.4 ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

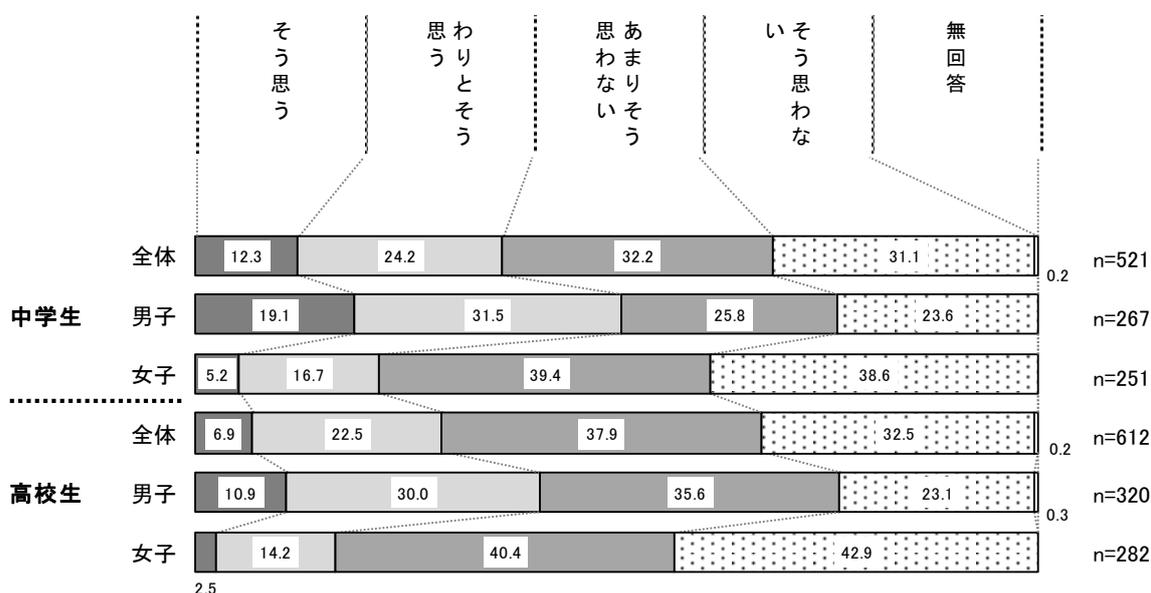
中学生は「そう思う」(48.0%) が高校生(41.2%) より 6.8 ポイント高く、特に男子(56.9%) は高校生の男子 (45.0%) より 11.9 ポイント高くなっています。

<④デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ>

◆『概ねそう思わない』は中学生 63.3%、高校生 70.4%

◆前回調査と比べて、『概ねそう思わない』は中学生・高校生ともに 10 ポイント以上増加

	中学生		高校生	
	平成 28 年	平成 22 年	平成 28 年	平成 22 年
『概ねそう思う』	36.5%	52.3%	29.4%	42.7%
そう思う	12.3%	17.5%	6.9%	10.2%
わりとそう思う	24.2%	34.8%	22.5%	32.5%
『概ねそう思わない』	63.3%	46.7%	70.4%	56.9%
あまりそう思わない	32.2%	21.6%	37.9%	26.8%
そう思わない	31.1%	25.1%	32.5%	30.1%



【中学生】

「あまりそう思わない」(32.2%)と「そう思わない」(31.1%)がともに高く、『概ねそう思わない』は63.3%、『概ねそう思う』は36.5%となっています。

性別で見ると、男子は『概ねそう思う』(50.6%)が女子(21.9%)より28.7ポイント高く、女子は『概ねそう思わない』(78.0%)が男子(49.4%)より28.6ポイント高くなっています。

【高校生】

「あまりそう思わない」(37.9%)が最も高く、次いで「そう思わない」(32.5%)が高くなっており、『概ねそう思わない』は70.4%、『概ねそう思う』は29.4%となっています。

性別で見ると、男子は『概ねそう思う』(40.9%)が女子(16.7%)より24.2ポイント高く、女子は『概ねそう思わない』(83.3%)が男子(58.7%)より24.6ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生は『概ねそう思わない』(70.4%)が中学生(63.3%)より7.1ポイント高くなっており、特に男子(58.7%)は中学生の男子(49.4%)より9.3ポイント高くなっています。

【前回調査との比較】

●『概ねそう思う』の割合

前回調査と比べて、中学生は「デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ」で 15.8 ポイント減少し、高校生は 13.3 ポイント減少しています。高校生は「荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ」で 9.6 ポイント増加し、「運動部のマネージャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい」で 7.7 ポイント減少しています。

(%)

		①荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ	②運動部のマネージャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい	③女性または男性にしか向いていない職業がある	④デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ
中学生	平成 28 年	68.5	64.1	75.3	36.5
	平成 22 年	67.9	61.6	77.1	52.3
	差	0.6	2.5	-1.8	-15.8
高校生	平成 28 年	82.7	64.0	80.4	29.4
	平成 22 年	73.1	71.7	83.9	42.7
	差	9.6	-7.7	-3.5	-13.3

4 結婚・将来の生活について

4-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について

問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(1つに○印)

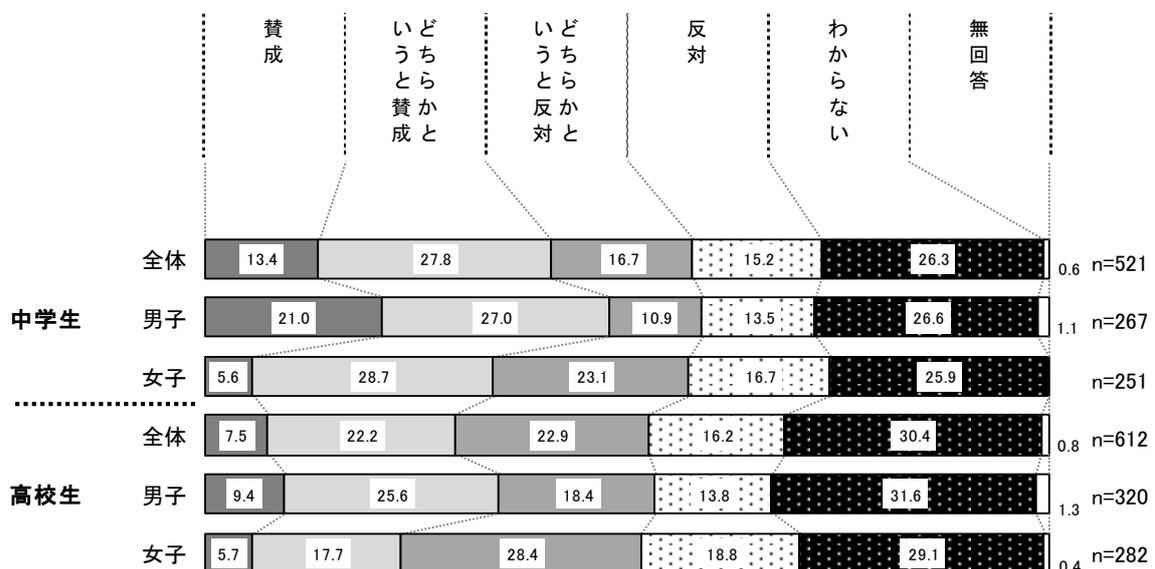
◆中学生は『概ね賛成』41.2%、『概ね反対』31.9%、高校生は『概ね賛成』29.7%、『概ね反対』39.1%

◆前回調査と比べて、中学生は『概ね反対』が増加、高校生は「わからない」が増加

中学生	平成 28 年9月	平成 22 年9月	平成 18 年9月
『概ね賛成』	41.2%	42.2%	36.8%
賛成	13.4%	15.6%	13.1%
どちらかという賛成	27.8%	26.6%	23.7%
『概ね反対』	31.9%	26.0%	33.8%
どちらかという反対	16.7%	12.7%	18.4%
反対	15.2%	13.3%	15.4%
わからない	26.3%	30.2%	29.0%

高校生	平成 28 年9月	平成 22 年9月	平成 18 年9月
『概ね賛成』	29.7%	33.5%	30.1%
賛成	7.5%	7.8%	7.0%
どちらかという賛成	22.2%	25.7%	23.1%
『概ね反対』	39.1%	44.6%	50.3%
どちらかという反対	22.9%	25.2%	26.9%
反対	16.2%	19.4%	23.4%
わからない	30.4%	21.4%	19.1%

『概ね賛成』…「賛成」と「どちらかという賛成」を合算
『概ね反対』…「反対」と「どちらかという反対」を合算



【中学生】

『概ね賛成』は41.2%、『概ね反対』は31.9%となっており、賛成が反対より9.3ポイント高くなっています。

性別で見ると、男子は『概ね賛成』(48.0%)が女子(34.3%)より13.7ポイント高く、女子は『概ね反対』(39.8%)が男子(24.4%)より15.4ポイント高くなっています。

【高校生】

『概ね賛成』は29.7%、『概ね反対』は39.1%となっており、反対が賛成より9.4ポイント高くなっています。

性別で見ると、男子は『概ね賛成』(35.0%)が女子(23.4%)より11.6ポイント高く、女子は『概ね反対』(47.2%)が男子(32.2%)より15.0ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は『概ね賛成』(41.2%)が高校生(29.7%)より11.5ポイント高くなっています。

【一般市民との比較】

中学生は『概ね賛成』(41.2%)が高く、『概ね反対』(31.9%)より約10ポイント高くなっています。

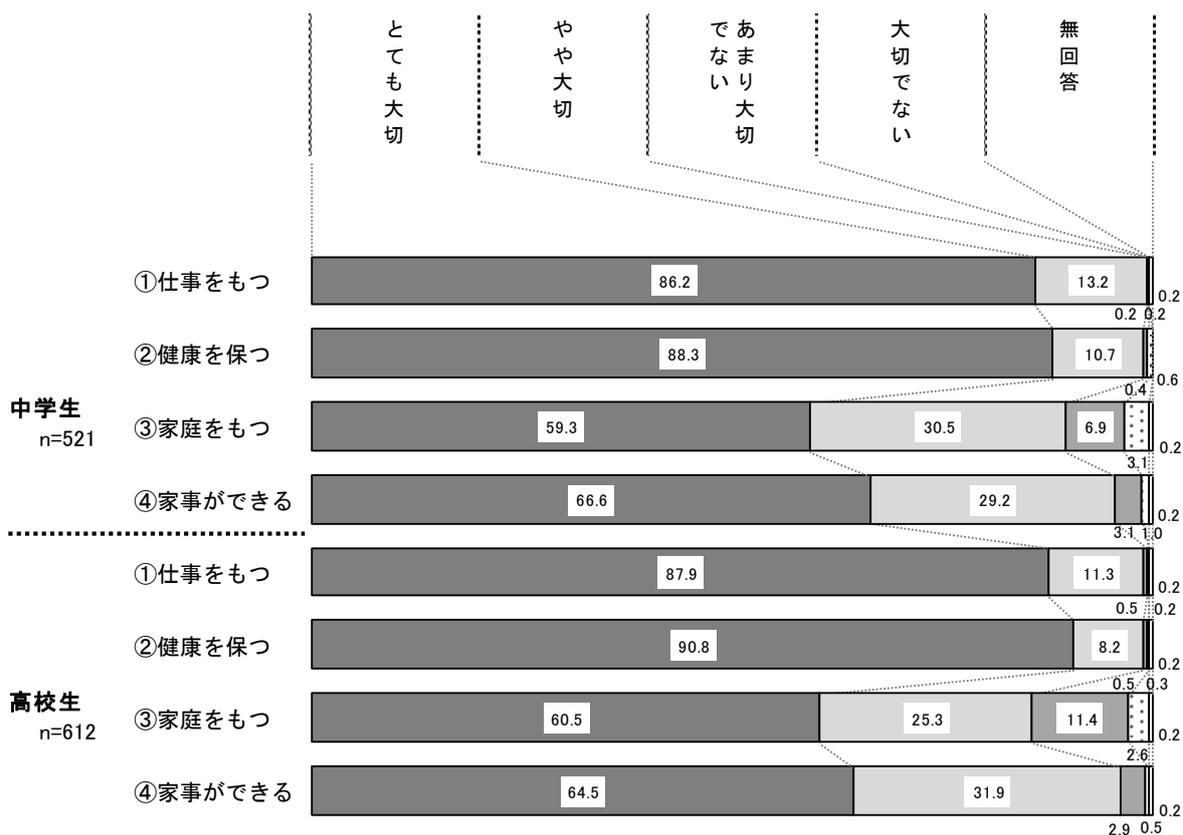
高校生と一般市民は『概ね反対』が高く、『概ね賛成』より約10ポイント高くなっています。

	中学生	高校生	一般市民
『概ね賛成』	41.2%	29.7%	37.4%
賛成	13.4%	7.5%	4.5%
どちらかという賛成	27.8%	22.2%	32.9%
『概ね反対』	31.9%	39.1%	48.3%
どちらかという反対	16.7%	22.9%	26.3%
反対	15.2%	16.2%	22.0%
わからない	26.3%	30.4%	13.5%

4-2 将来の生活における仕事・健康・家庭・家事の重要度

問8 将来、あなたが希望する生活を送るために、次のことはどれくらい大切だと思いますか。次の①～④についてそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆中学生・高校生ともに「とても大切」は「仕事」と「健康」で約9割、「家事」で6割強、「家庭」で約6割



【中学生】(①～④)

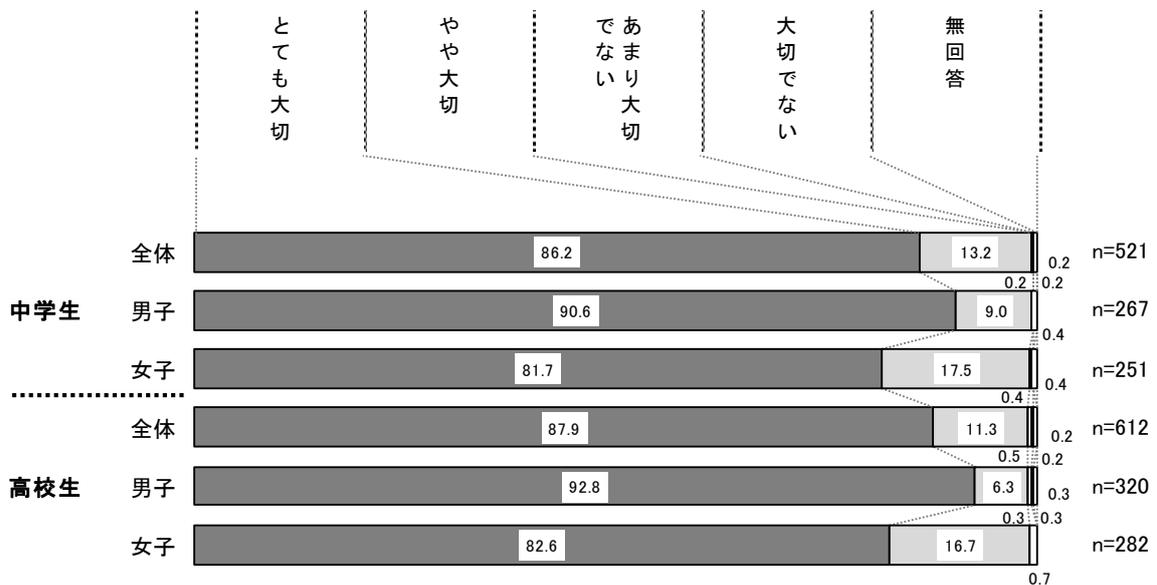
「とても大切」は、「仕事をもつ」と「健康を保つ」で9割弱、「家庭をもつ」で約6割、「家事ができる」で6割強となっています。「とても大切」と「やや大切」を合わせた『概ね大切』は、どの項目でも約9割以上を占めています。『概ね大切でない』（「大切にない」と「あまり大切にない」の合計）は「家庭をもつ」以外の項目では1割未満となっています。

【高校生】(①～④)

「とても大切」は、「仕事をもつ」と「健康を保つ」で約9割、「家庭をもつ」で約6割、「家事ができる」で6割強となっています。『概ね大切』は、どの項目でも8割以上を占めています。『概ね大切でない』は「家庭をもつ」以外の項目では1割未満となっています。

<①仕事をもつ>

◆仕事をもつことは「とても大切」は中学生 86.2%、高校生 87.9%



【中学生】

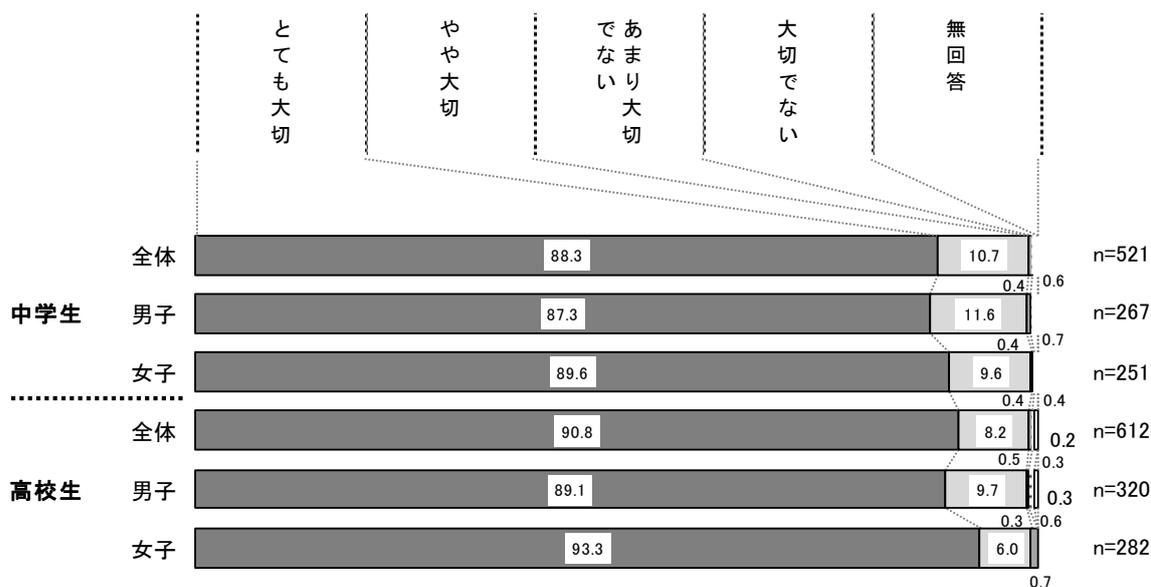
『概ね大切』は99.4%を占め、そのうち「とても大切」は86.2%となっています。
性別で見ると、男子は「とても大切」(90.6%)が女子(81.7%)より8.9ポイント高くなっています。

【高校生】

『概ね大切』は99.2%を占め、そのうち「とても大切」は87.9%となっています。
性別で見ると、男子は「とても大切」(92.8%)が女子(82.6%)より10.2ポイント高くなっています。

<②健康を保つ>

◆健康を保つことは「とても大切」は中学生 88.3%、高校生 90.8%



【中学生】

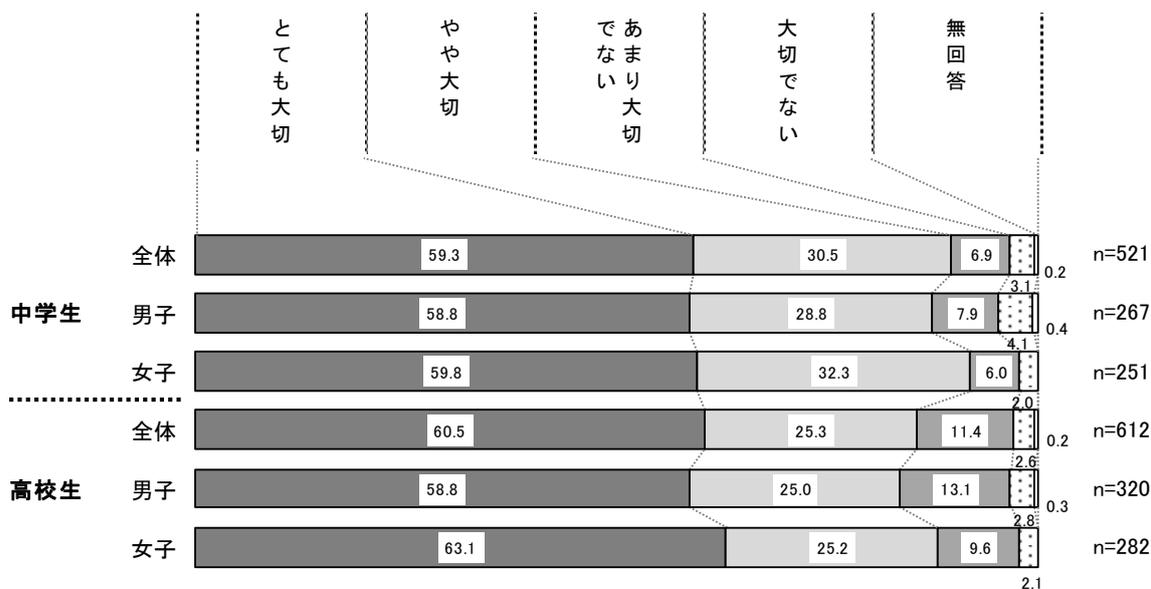
『概ね大切』は99.0%を占め、そのうち「とても大切」は88.3%となっています。

【高校生】

『概ね大切』は99.0%を占め、そのうち「とても大切」は90.8%となっています。

<③家庭をもつ>

◆家庭をもつことは「とても大切」は中学生 59.3%、高校生 60.5%



【中学生】

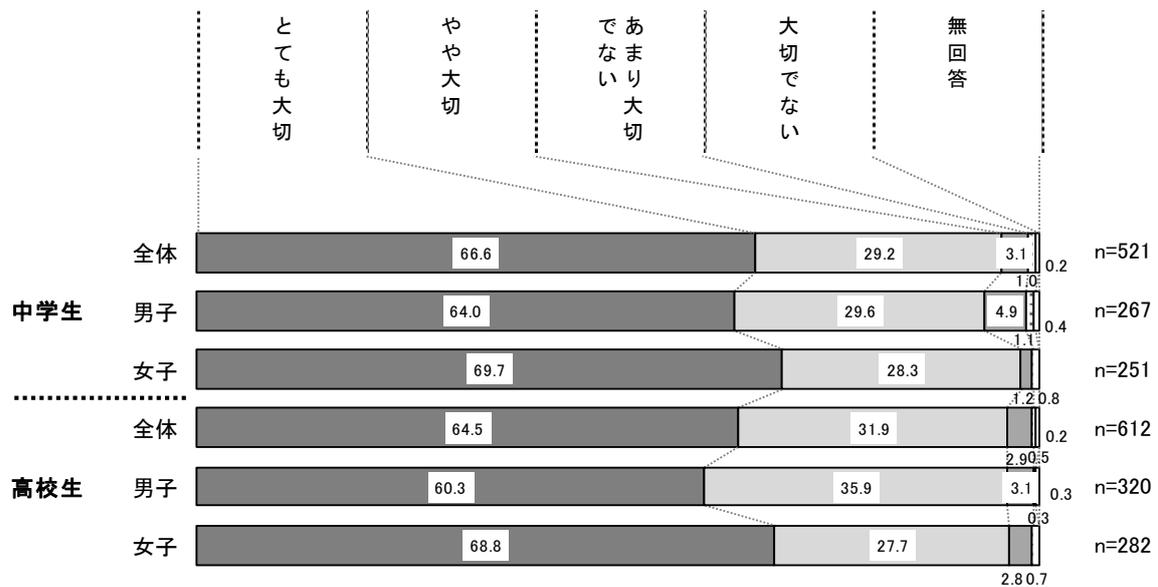
『概ね大切』は89.8%を占め、そのうち「とても大切」は59.3%となっています。

【高校生】

『概ね大切』は85.8%を占め、そのうち「とても大切」は60.5%となっています。

<④家事ができる>

◆家事ができることは「とても大切」は中学生 66.6%、高校生 64.5%



【中学生】

『概ね大切』は95.8%を占め、そのうち「とても大切」は66.6%となっています。
性別で見ると、女子は「とても大切」(69.7%)が男子(64.0%)より5.7ポイント高くなっています。

【高校生】

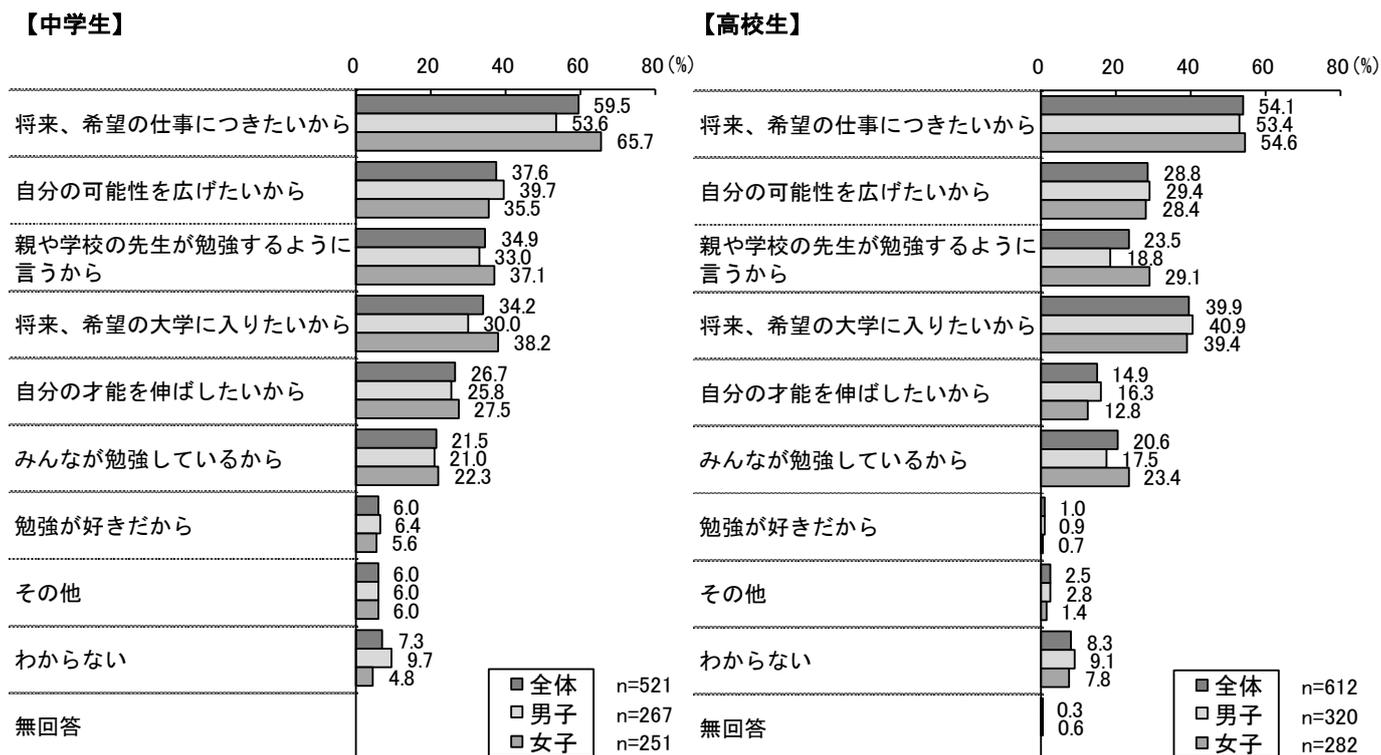
『概ね大切』は96.4%を占め、そのうち「とても大切」は64.5%となっています。
性別で見ると、女子は「とても大切」(68.8%)が男子(60.3%)より8.5ポイント高くなっています。

5 教育について

5-1 勉強する理由

問9 あなたが勉強する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

◆中学生・高校生ともに「将来、希望の仕事につきたいから」が第1位。中学生の2位は「自分の可能性を広げたいから」、高校生の2位は「将来、希望の大学に入りたいから」



【中学生】

「将来、希望の仕事につきたいから」(59.5%)が最も高く、次いで「自分の可能性を広げたいから」(37.6%)が高くなっています。

性別で見ると、女子は「将来、希望の仕事につきたいから」(65.7%)で高く、男子(53.6%)より12.1ポイント高くなっています。

【高校生】

「将来、希望の仕事につきたいから」(54.1%)が最も高く、次いで「将来、希望の大学に入りたいから」(39.9%)が高くなっています。

性別で見ると、女子は「親や学校の先生が勉強するように言うから」(29.1%)が男子(18.8%)より10.3ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「自分の可能性を広げたいから」、「親や学校の先生が勉強するように言うから」、「自分の才能を伸ばしたいから」が高校生を約10ポイント上回っています。

5-2 希望する進学先

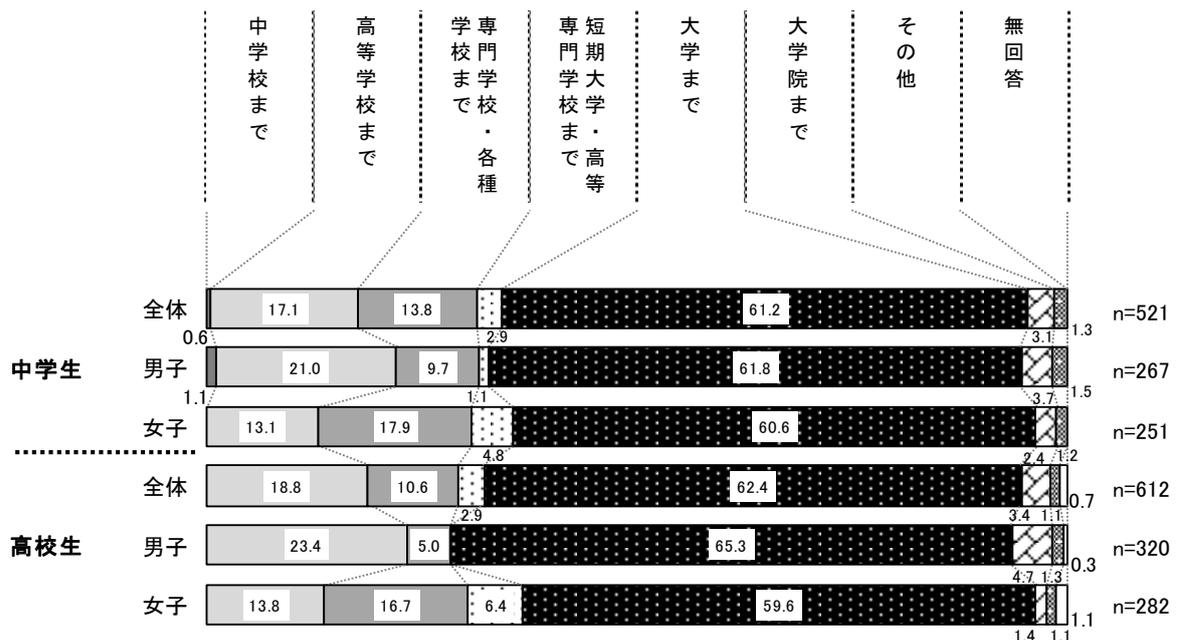
問10 あなたは、どこまで進学したいですか。(1つに○印)

◆中学生・高校生ともに「大学まで」が約6割

◆前回調査と比べて、中学生で「大学まで」が大きく増加

※前回調査の設問文は「あなたは、どこまで勉強したいと思いますか」。

	中学生		高校生	
	平成 28 年	平成 22 年	平成 28 年	平成 22 年
中学校まで	0.6%	—	—	—
高等学校まで	17.1%	28.4%	18.8%	17.9%
専門学校・各種学校まで	13.8%	12.4%	10.6%	10.3%
短期大学・高等専門学校まで	2.9%	8.5%	2.9%	3.8%
大学まで ※前回調査は「4年制大学まで」	61.2%	35.5%	62.4%	58.8%
大学院まで	3.1%	10.4%	3.4%	5.9%
その他	1.3%	1.7%	1.1%	1.8%



【中学生】

「大学まで」(61.2%)が最も高く、次いで「高等学校まで」(17.1%)が高くなっています。

性別で見ると、女子は「専門学校・各種学校まで」(17.9%)が男子(9.7%)より8.2ポイント高くなっています。

【高校生】

「大学まで」(62.4%)が最も高く、次いで「高等学校まで」(18.8%)が高くなっています。

性別でみると、女子は「専門学校・各種学校まで」(16.7%)が男子(5.0%)より11.7ポイント高く、男子は「大学まで」(65.3%)が女子(59.6%)より5.7ポイント高くなっています。

【一般市民との比較】

女子の進学希望と一般市民の女の子への期待についてみると、中学生・高校生は「大学まで」が約60%で一般市民(55.1%)より若干高く、一般市民は「短期大学・高等専門学校まで」が中学生・高校生より若干高くなっています。

男子の進学希望と一般市民の男の子への期待についてみると、中学生・高校生と一般市民はともに「大学まで」が60%台ですが、中学生・高校生は「高等学校まで」が20%台で一般市民(5.8%)より高くなっています。

●女子の進学希望と、一般市民の女の子への期待

	中学生女子	高校生女子	一般市民
中学校まで	—	—	—
高等学校まで	13.1%	13.8%	9.1%
専門学校・各種学校まで	17.9%	16.7%	7.8%
短期大学・高等専門学校まで	4.8%	6.4%	10.3%
大学まで	60.6%	59.6%	55.1%
大学院まで	2.4%	1.4%	2.6%
その他	1.2%	1.1%	11.3%

●男子の進学希望と、一般市民の男の子への期待

	中学生男子	高校生男子	一般市民
中学校まで	1.1%	—	—
高等学校まで	21.0%	23.4%	5.8%
専門学校・各種学校まで	9.7%	5.0%	4.6%
短期大学・高等専門学校まで	1.1%	—	1.7%
大学まで	61.8%	65.3%	68.3%
大学院まで	3.7%	4.7%	5.3%
その他	1.5%	1.3%	10.9%

6 職業について

6-1 職業選択の際に重要視すること

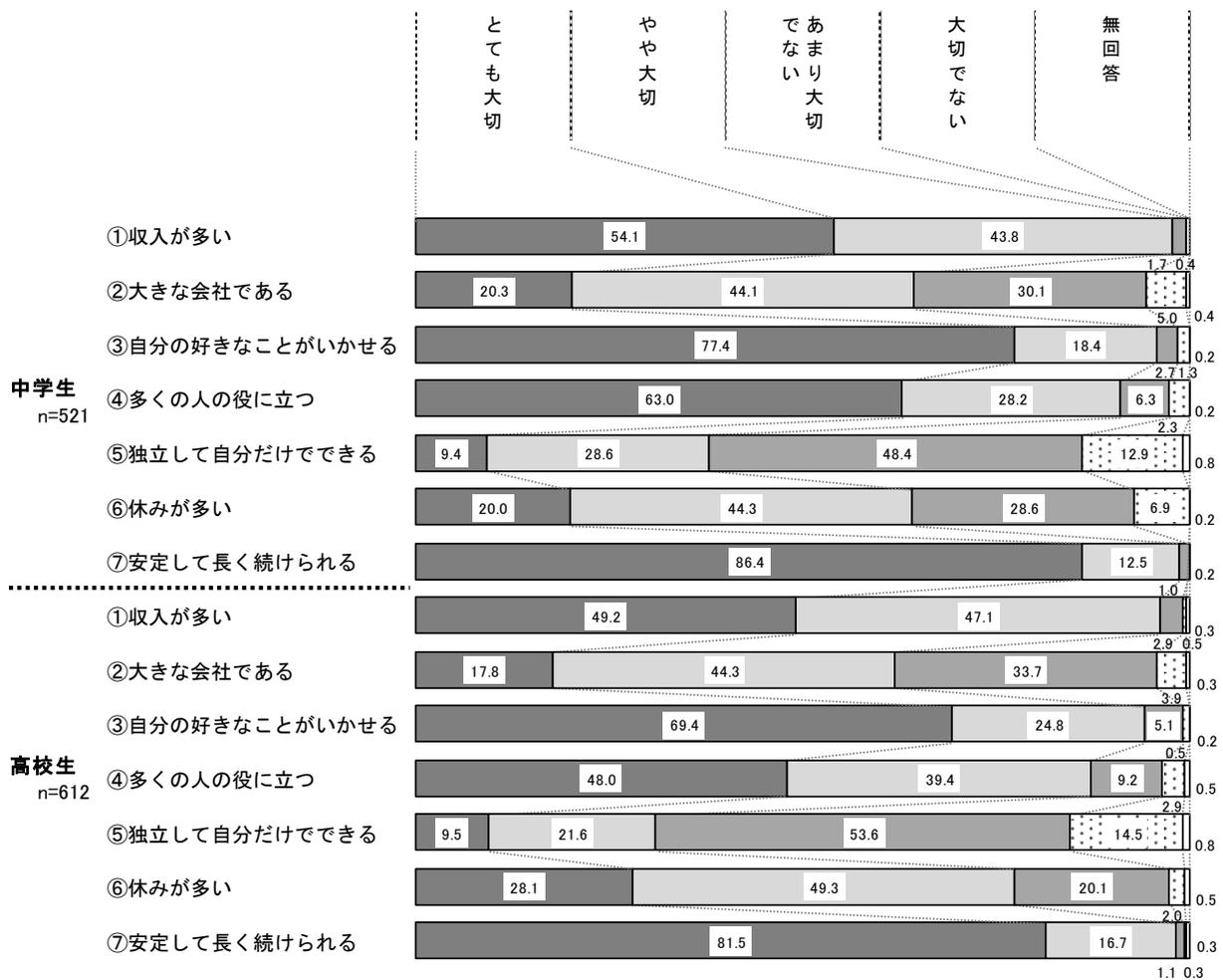
問11 職業を選ぶとしたら、次のようなことをどれくらい大切に考えますか。次の①～⑦についてそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆中学生・高校生ともに「とても大切」は「安定して長く続けられる」で8割以上と高い

		(%)						
	①収入が多い	②大きな会社である	③自分の好きなことがいける	④多くの人の役に立つ	⑤独立して自分だけでできる	⑥休みが多い	⑦安定して長く続けられる	
中学生								
『概ね大切』	97.9	64.4	95.8	91.2	38.0	64.3	98.9	
とても大切	54.1	20.3	77.4	63.0	9.4	20.0	86.4	
やや大切	43.8	44.1	18.4	28.2	28.6	44.3	12.5	
『概ね大切でない』	2.1	35.1	4.0	8.6	61.3	35.5	1.0	
あまり大切でない	1.7	30.1	2.7	6.3	48.4	28.6	1.0	
大切でない	0.4	5.0	1.3	2.3	12.9	6.9	—	
高校生								
『概ね大切』	96.3	62.1	94.2	87.4	31.1	77.4	98.2	
とても大切	49.2	17.8	69.4	48.0	9.5	28.1	81.5	
やや大切	47.1	44.3	24.8	39.4	21.6	49.3	16.7	
『概ね大切でない』	3.4	37.6	5.6	12.1	68.1	22.1	1.4	
あまり大切でない	2.9	33.7	5.1	9.2	53.6	20.1	1.1	
大切でない	0.5	3.9	0.5	2.9	14.5	2.0	0.3	

『概ね大切』…「とても大切」と「やや大切」を合算

『概ね大切でない』…「あまり大切でない」と「大切でない」を合算



【中学生】(①～⑦)

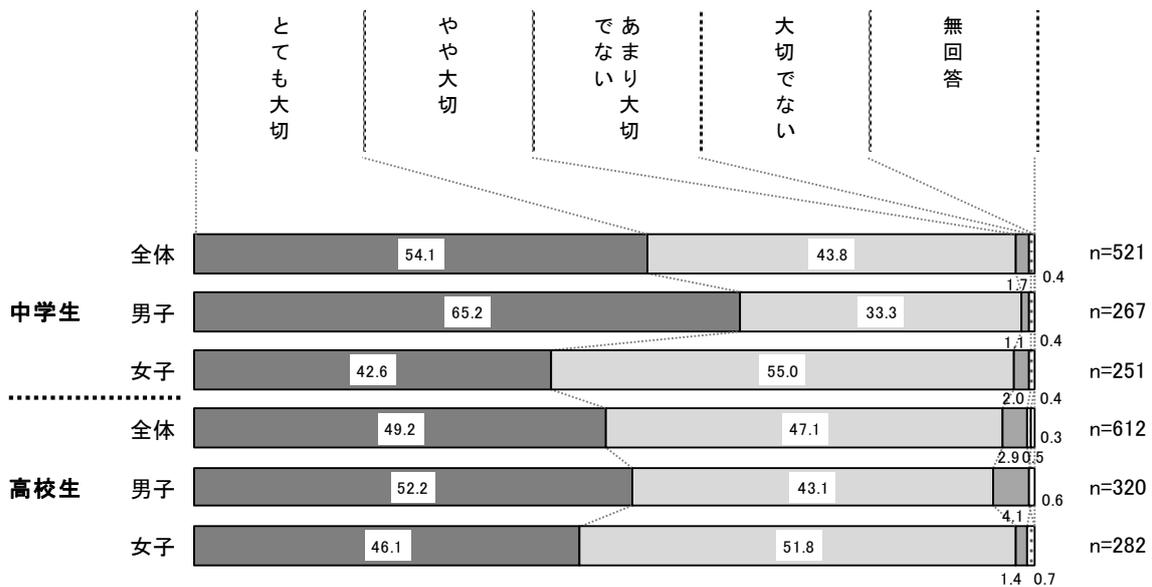
「とても大切」は、「安定して長く続けられる」で 86.4%、「自分の好きなことがいかにせる」で 77.4%、「多くの人の役に立つ」で 63.0%、「収入が多い」で 54.1%となっており、『概ね大切』はこれらの項目で 90%以上を占めています。『概ね大切でない』は「独立して自分だけできる」で 61.3%と高くなっています。

【高校生】(①～⑦)

「とても大切」は、「安定して長く続けられる」で 81.5%、「自分の好きなことがいかにせる」で 69.4%、「収入が多い」で 49.2%となっており、『概ね大切』はこれらの項目で 90%以上を占めています。『概ね大切でない』は「独立して自分だけできる」で 68.1%と高くなっています。

<①収入が多い>

◆収入が多いことは「とても大切」は中学生 54.1%、高校生 49.2%



【中学生】

『概ね大切』は97.9%を占め、そのうち「とても大切」は54.1%となっています。
性別でみると、男子は「とても大切」(65.2%)が女子(42.6%)より22.6ポイント高くなっています。

【高校生】

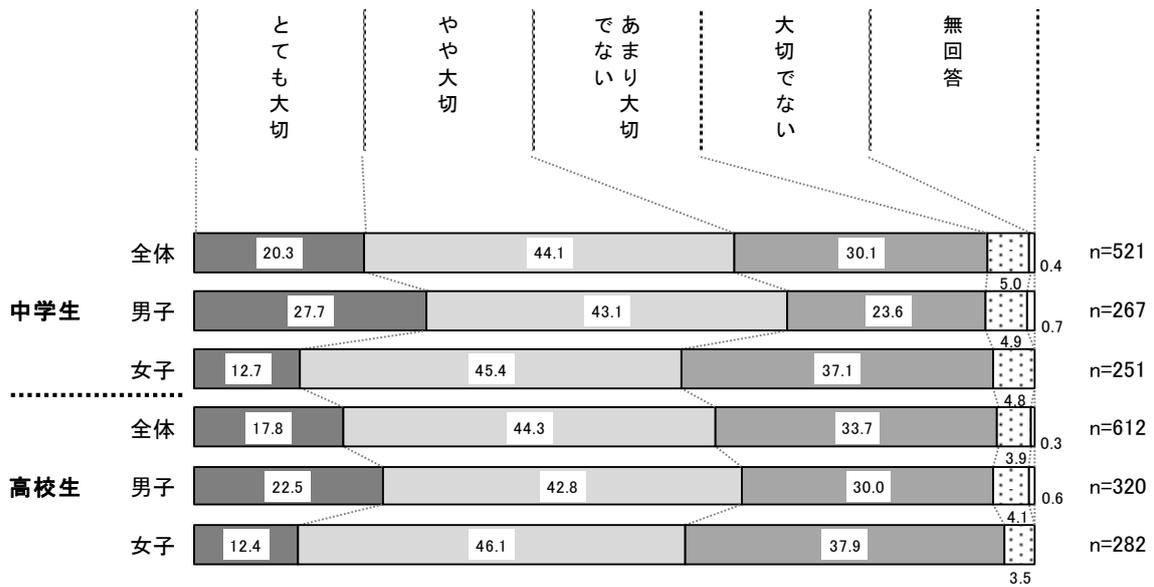
『概ね大切』は96.3%を占め、そのうち「とても大切」は49.2%となっています。
性別でみると、男子は「とても大切」(52.2%)が女子(46.1%)より6.1ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生の男子は「とても大切」(52.2%)が中学生の男子(65.2%)より13.0ポイント低く、高校生の女子(46.1%)は中学生の女子(42.6%)より3.5ポイント高くなっています。

<②大きな会社である>

◆大きな会社であることが「とても大切」は中学生 20.3%、高校生 17.8%



【中学生】

『概ね大切』は64.4%で、そのうち「とても大切」は20.3%となっています。

性別でみると、男子は「とても大切」(27.7%)が女子(12.7%)より15.0ポイント高くなっています。

【高校生】

『概ね大切』は62.1%で、そのうち「とても大切」は17.8%となっています。

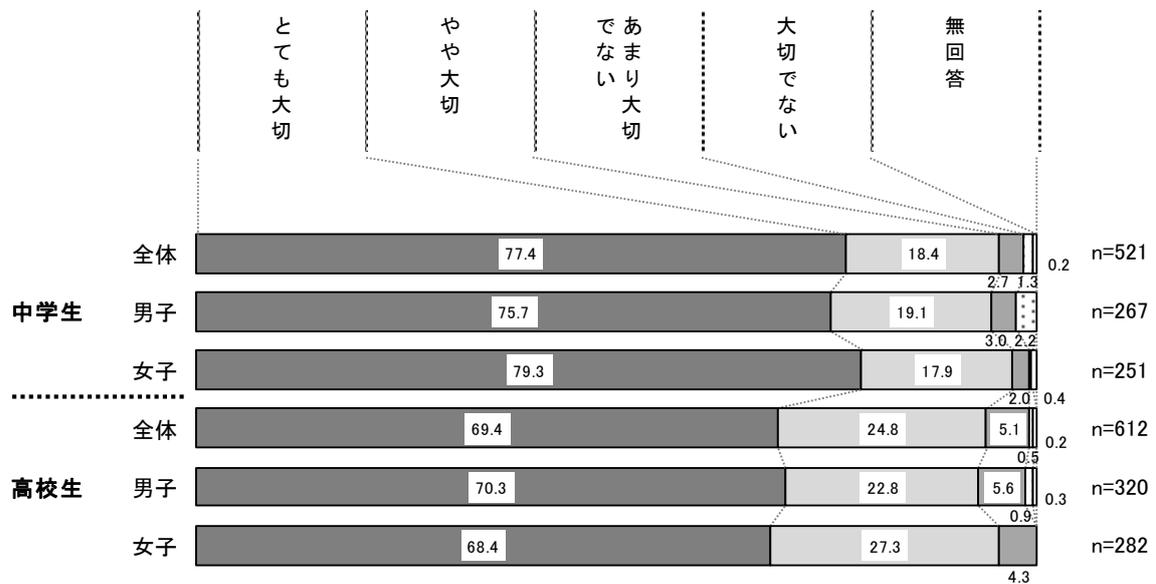
性別でみると、男子は「とても大切」(22.5%)が女子(12.4%)より10.1ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生の男子は「とても大切」(27.7%)が高校生の男子(22.5%)より5.2ポイント高くなっています。

<③自分の好きなことがいかにせる>

◆自分の好きなことがいかにせることが「とても大切」は中学生 77.4%、高校生 69.4%



【中学生】

『概ね大切』は95.8%を占め、そのうち「とても大切」は77.4%となっています。

【高校生】

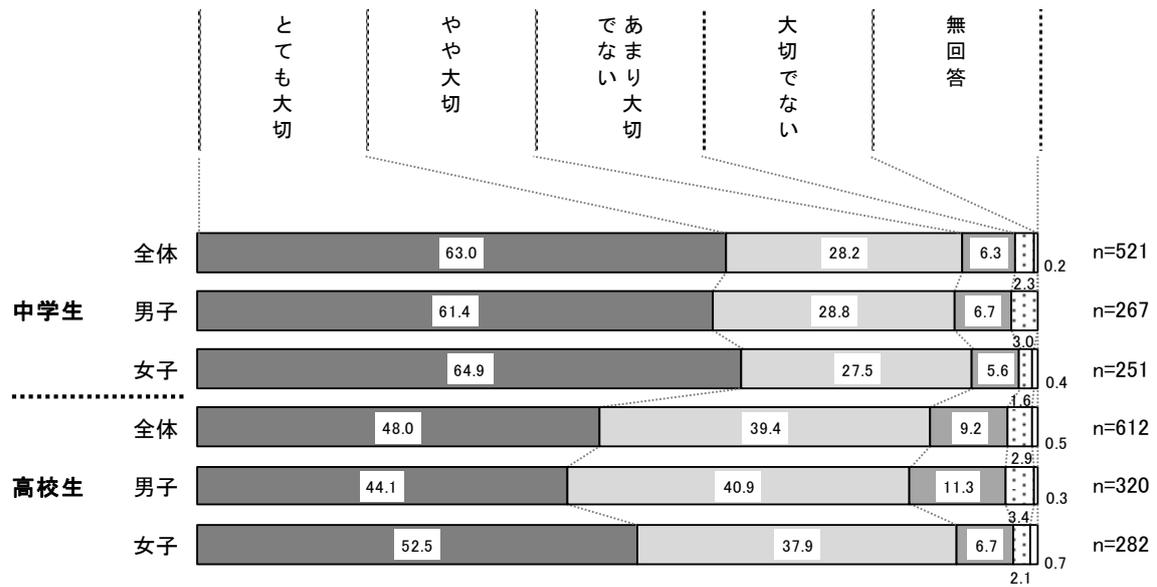
『概ね大切』は94.2%を占め、そのうち「とても大切」は69.4%となっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「とても大切」(77.4%)が高校生(69.4%)より8.0ポイント高くなっていますが、特に女子(79.3%)は高校生の女子(68.4%)より10.9ポイント高くなっています。

<④多くの人の役に立つ>

◆多くの人の役に立つことが「とても大切」は中学生 63.0%、高校生 48.0%



【中学生】

『概ね大切』は91.2%を占め、そのうち「とても大切」は63.0%となっています。

【高校生】

『概ね大切』は87.4%を占め、そのうち「とても大切」は48.0%となっています。

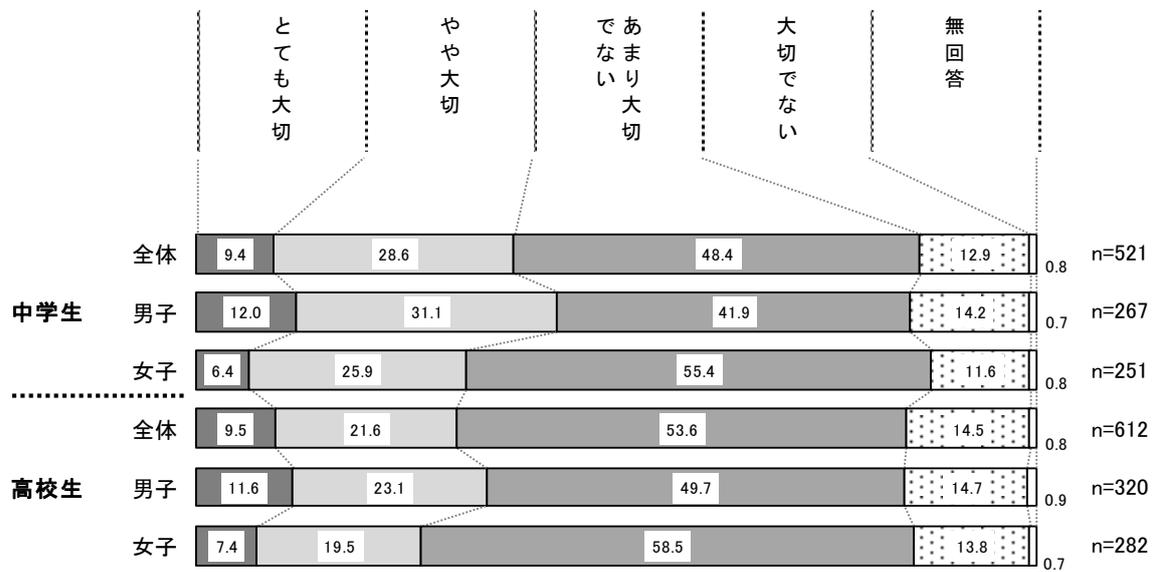
性別でみると、女子は「とても大切」(52.5%)が男子(44.1%)より8.4ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生では「とても大切」(63.0%)が高校生(48.0%)より15.0ポイント高く、特に男子(61.4%)は高校生の男子(44.1%)より17.3ポイント高くなっています。

<⑤独立して自分だけでできる>

◆独立して自分だけでできることが「とても大切」は中学生9.4%、高校生9.5%



【中学生】

『概ね大切』は38.0%で、そのうち「とても大切」は9.4%となっています。

性別で見ると、男子は『概ね大切』（43.1%）が女子（32.3%）より10.8ポイント高くなっています。

【高校生】

『概ね大切』は31.1%で、そのうち「とても大切」は9.5%となっています。

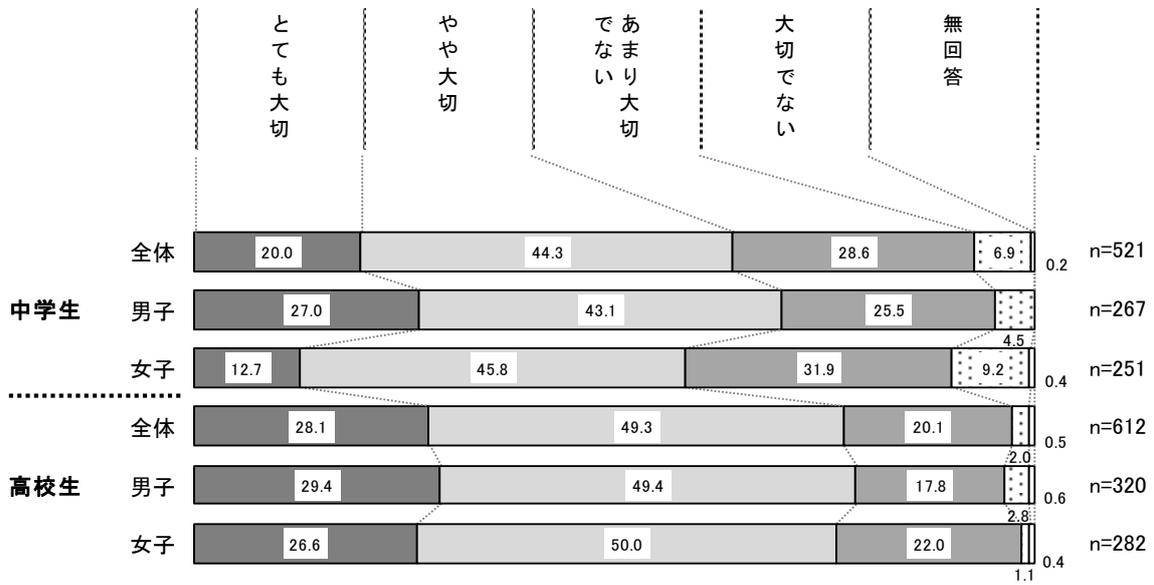
性別で見ると、男子は『概ね大切』（34.7%）が女子（26.9%）より7.8ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は『概ね大切』（38.0%）が高校生（31.1%）より6.9ポイント高く、特に男子（43.1%）は高校生の男子（34.7%）より8.4ポイント高くなっています。

<⑥休みが多い>

◆休みが多いことが「とても大切」は中学生 20.0%、高校生 28.1%



【中学生】

『概ね大切』は64.3%で、そのうち「とても大切」は20.0%となっています。

性別で見ると、男子は「とても大切」(27.0%)が女子(12.7%)より14.3ポイント高くなっています。

【高校生】

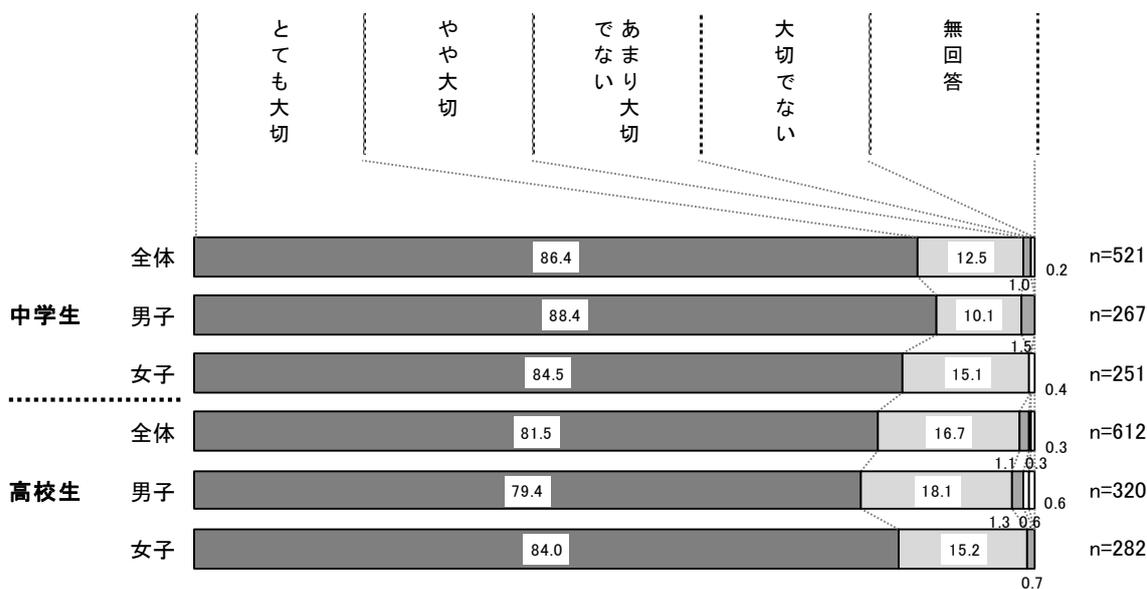
『概ね大切』は77.4%で、そのうち「とても大切」は28.1%となっています。

【中学生・高校生別】

高校生では『概ね大切』(77.4%)が中学生(64.3%)より13.1ポイント高く、特に女子(76.6%)は中学生の女子(58.5%)より18.1ポイント高くなっています。

<⑦安定して長く続けられる>

◆安定して長く続けられることが「とても大切」は中学生 86.4%、高校生 81.5%



【中学生】

『概ね大切』は 98.9%を占め、そのうち「とても大切」は 86.4%となっています。

【高校生】

『概ね大切』は 98.2%を占め、そのうち「とても大切」は 81.5%となっています。

【中学生・高校生別】

中学生の男子は「とても大切」(88.4%)が高校生の男子(79.4%)より 9.0ポイント高くなっています。

【前回調査との比較】

●「とても大切」の割合

前回調査と比べて、中学生は「多くの人の役に立つ」で 6.0ポイント増加し、高校生は「休みが多い」で 5.5ポイント増加しています。

		①収入が多い	②大きな会社である	③自分の好きなことがいける	④多くの人の役に立つ	⑤独立して自分だけできる	⑥休みが多い	⑦安定して長く続けられる
中学生	平成 28 年	54.1	20.3	77.4	63.0	9.4	20.0	86.4
	平成 22 年	53.0	20.9	76.3	57.0	11.7	18.8	82.6
	差	1.1	-0.6	1.1	6.0	-2.3	1.2	3.8
高校生	平成 28 年	49.2	17.8	69.4	48.0	9.5	28.1	81.5
	平成 22 年	49.8	15.7	69.2	44.0	9.4	22.6	81.4

	年							
	差	-0.6	2.1	0.2	4.0	0.1	5.5	0.1

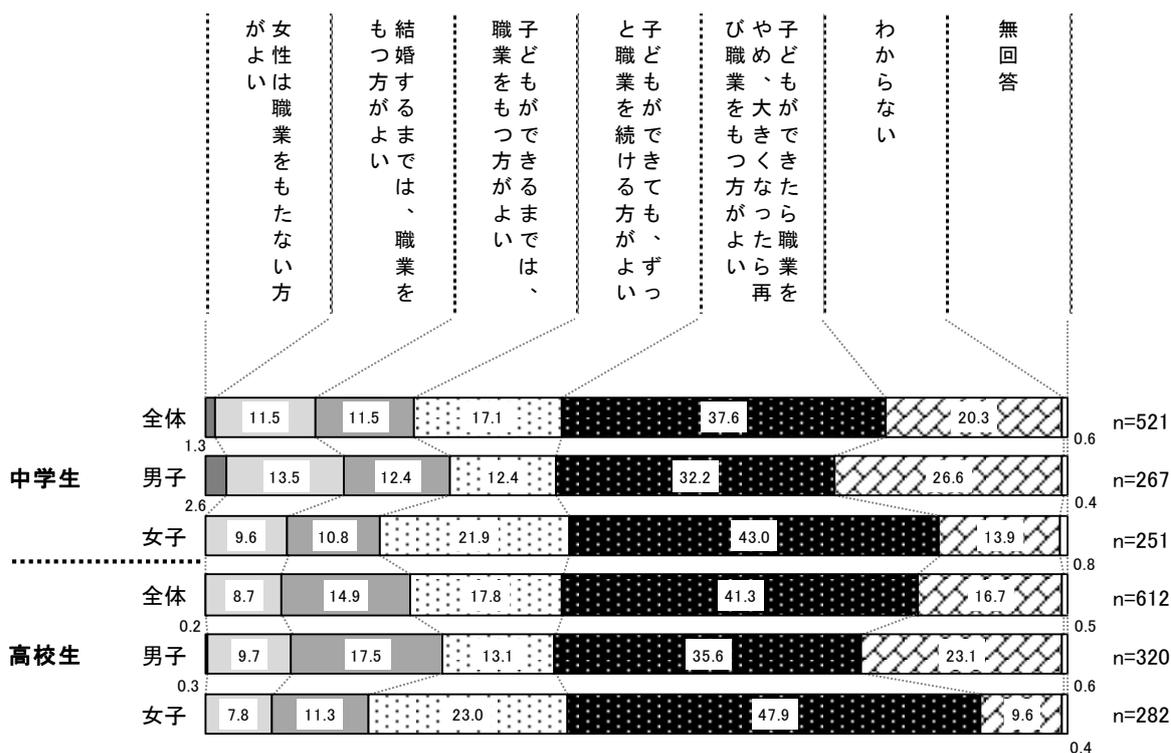
6-2 女性が職業をもつことについて

問12 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたの考えは次のうちどれですか。(1つに○印)

- ◆中学生・高校生ともに「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が最も高い
- ◆前回調査と比べて、中学生・高校生ともに「結婚するまでは、職業をもつ方がよい」が減少し、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が増加

中学生	平成 28 年9月	平成 22 年9月	平成 18 年9月
女性は職業をもたない方がよい	1.3%	2.0%	2.0%
結婚するまでは、職業をもつ方がよい	11.5%	14.3%	14.8%
子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	11.5%	12.3%	12.3%
子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	17.1%	12.6%	12.3%
子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	37.6%	31.2%	31.8%

高校生	平成 28 年9月	平成 22 年9月	平成 18 年9月
女性は職業をもたない方がよい	0.2%	0.9%	0.9%
結婚するまでは、職業をもつ方がよい	8.7%	13.8%	12.6%
子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	14.9%	13.0%	14.0%
子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	17.8%	15.0%	16.6%
子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	41.3%	35.2%	38.7%



【中学生】

「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(37.6%)が最も高くなっています。

性別で見ると、女子は「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が男子より約10ポイント高くなっています。

【高校生】

「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(41.3%)が最も高く、次いで「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」(17.8%)が高くなっています。

性別で見ると、女子は「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が男子より約10ポイント高くなっています。

【一般市民との比較】

中学生・高校生は一般市民と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」の割合が低くなっています。

	中学生	高校生	一般市民
女性は職業をもたない方がよい	1.3%	0.2%	0.6%
結婚するまでは職業をもつ方がよい	11.5%	8.7%	3.1%
子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	11.5%	14.9%	10.3%
子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	17.1%	17.8%	30.7%
子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	37.6%	41.3%	44.4%
わからない	20.3%	16.7%	—

6-3 リーダーや管理職になることについて

問13 あなたは、将来、仕事においてリーダーや管理職（部長・課長など）になりたいと思いますか。（1つに○印）

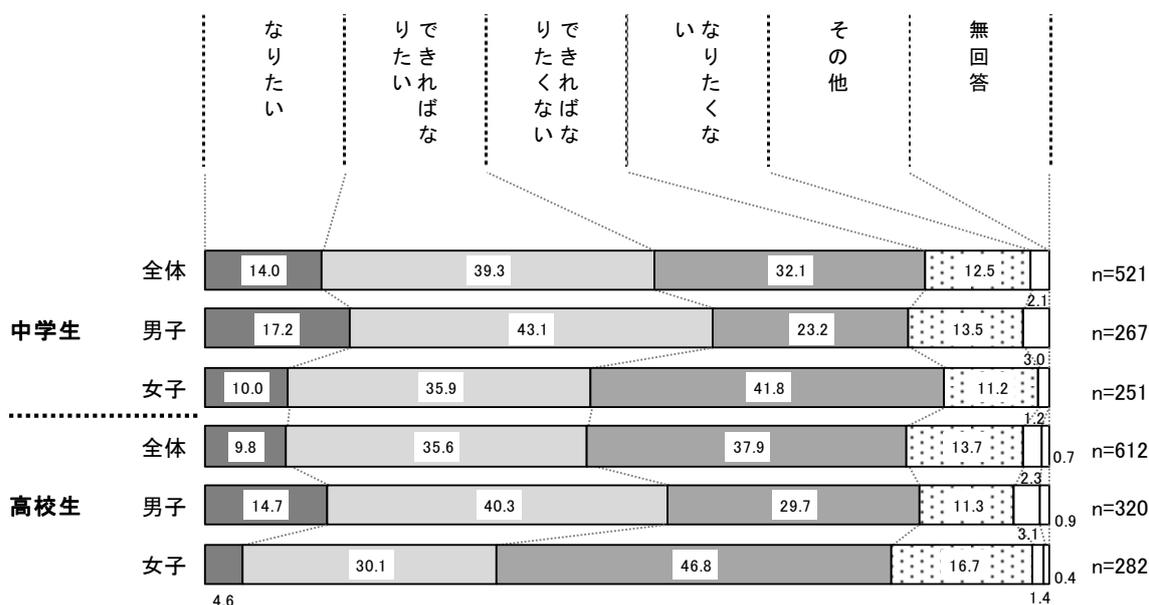
◆中学生は『概ねなりたい』（53.3%）が過半数、高校生は『概ねなりたくない』（51.6%）が過半数

中学生	平成 28 年 9 月
『概ねなりたい』	53.3%
なりたい	14.0%
できればなりたい	39.3%
『概ねなりたくない』	44.6%
できればなりたくない	32.1%
なりたくない	12.5%
その他	2.1%

高校生	平成 28 年 9 月
『概ねなりたい』	45.4%
なりたい	9.8%
できればなりたい	35.6%
『概ねなりたくない』	51.6%
できればなりたくない	37.9%
なりたくない	13.7%
その他	2.3%

『概ねなりたい』…「なりたい」と「できればなりたい」を合算

『概ねなりたくない』…「なりたくない」と「できればなりたくない」を合算



【中学生】

『概ねなりたい』は53.3%となっており、『概ねなりたくない』(44.6%)より高くなっています。

性別で見ると、男子は『概ねなりたい』(60.3%)が女子(45.9%)より14.4ポイント高く、女子は『概ねなりたくない』(53.0%)が『概ねなりたい』より高くなっています。

【高校生】

『概ねなりたい』は45.4%となっており、『概ねなりたくない』(51.6%)より低くなっています。

性別で見ると、男子は『概ねなりたい』(55.0%)が女子(34.7%)より20.3ポイント高く、女子は『概ねなりたくない』(63.5%)が男子(41.0%)より22.5ポイント高くなっています。

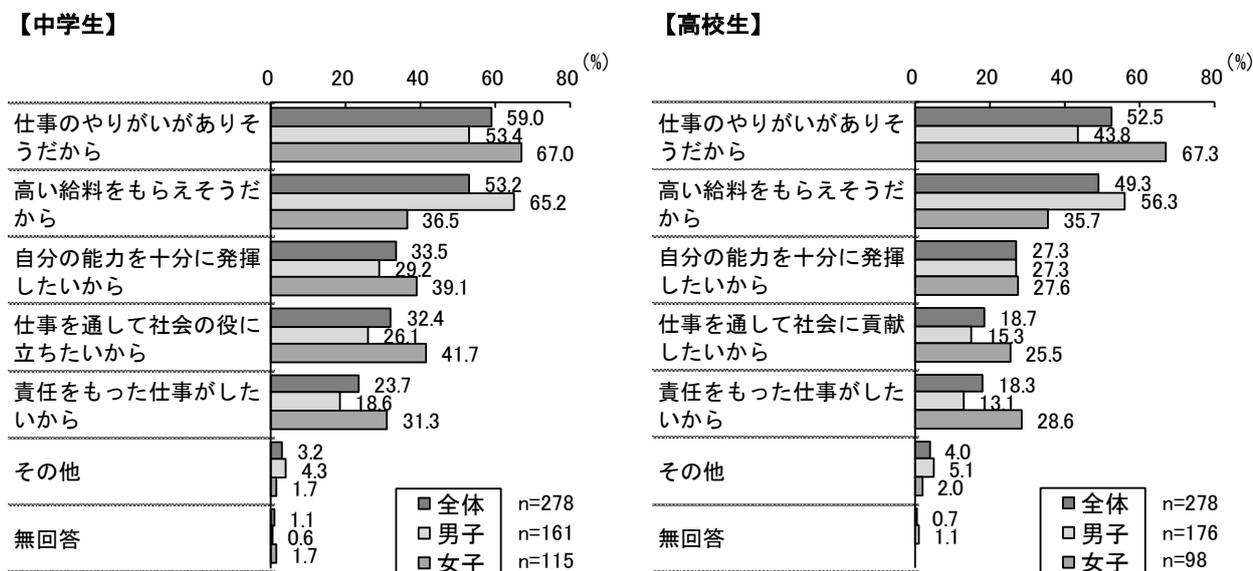
【中学生・高校生別】

中学生は『概ねなりたい』(53.3%)が高校生(45.4%)より7.9ポイント高く、特に女子(45.9%)は高校生の女子(34.7%)より11.2ポイント高くなっています。

問 13 で、「1 になりたい」または「2 できればになりたい」と回答した方におたずねします。

問 13(1) リーダーや管理職になりたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

◆中学生・高校生ともに「仕事のやりがいがありそうだから」、「高い給料をもらえそうだから」、「自分の能力を十分に発揮したいから」が上位



【中学生】

「仕事のやりがいがありそうだから」(59.0%) が最も高く、次いで「高い給料をもらえそうだから」(53.2%)、「自分の能力を十分に発揮したいから」(33.5%) が高くなっています。

性別でみると、男子は「高い給料をもらえそうだから」(65.2%) が女子(36.5%) より 28.7 ポイント高くなっていますが、他の項目についてはすべて女子が男子より概ね 10 ポイント以上高くなっています。

【高校生】

「仕事のやりがいがありそうだから」(52.5%) が最も高く、次いで「高い給料をもらえそうだから」(49.3%)、「自分の能力を十分に発揮したいから」(27.3%) が高くなっています。

性別でみると、男子は「高い給料をもらえそうだから」(56.3%) が女子(35.7%) より 20.6 ポイント高くなっていますが、女子は「仕事のやりがいがありそうだから」(67.3%) が男子(43.8%) より 23.5 ポイント高くなっているほか、「仕事を通して社会に貢献したいから」、「責任をもった仕事がしたいから」も男子より 10 ポイント以上高くなっています。

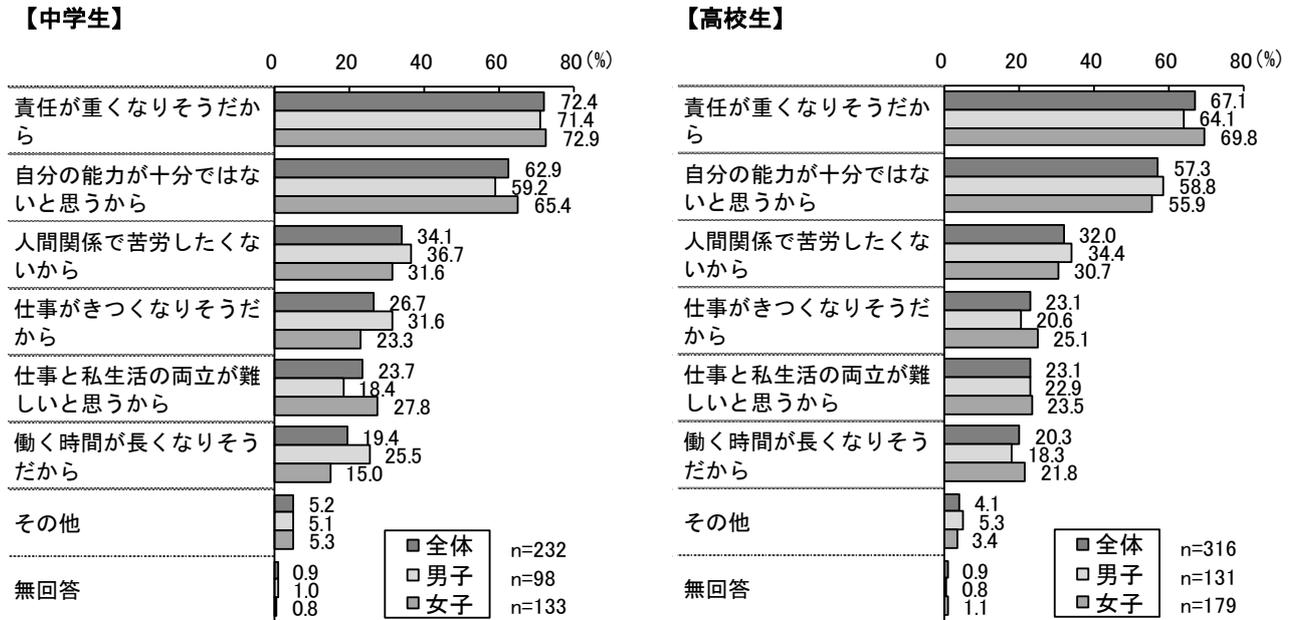
【中学生・高校生別】

ほとんどすべての項目について中学生が高校生より高くなっていますが、中学生の女子は「仕事のやりがいがありそうだから」(67.0%) が高校生(67.3%) より低くなっています。

問 13 で、「3 できればなりたくない」または「4 なりたくない」と回答した方におたずねします。

問 13(2) リーダーや管理職になりたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

◆中学生・高校生ともに「責任が重くなりそうだから」、「自分の能力が十分ではないと思うから」、「人間関係で苦勞したくないから」が上位



【中学生】

「責任が重くなりそうだから」(72.4%) が最も高く、次いで「自分の能力が十分ではないと思うから」(62.9%)、「人間関係で苦勞したくないから」(34.1%) が高くなっています。性別でみると、男子は「働く時間が長くなりそうだから」(25.5%) が女子(15.0%) より 10.5 ポイント高く、女子は「仕事と私生活の両立が難しいと思うから」(27.8%) が男子(18.4%) より 9.4 ポイント高くなっています。

【高校生】

「責任が重くなりそうだから」(67.1%) が最も高く、次いで「自分の能力が十分ではないと思うから」(57.3%)、「人間関係で苦勞したくないから」(32.0%) が高くなっています。性別でみると、女子は「責任が重くなりそうだから」(69.8%) が男子(64.1%) より 5.7 ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生の女子は「働く時間が長くなりそうだから」(21.8%) が中学生の女子(15.0%) より 6.8 ポイント高くなっています。

7 男女の人権について

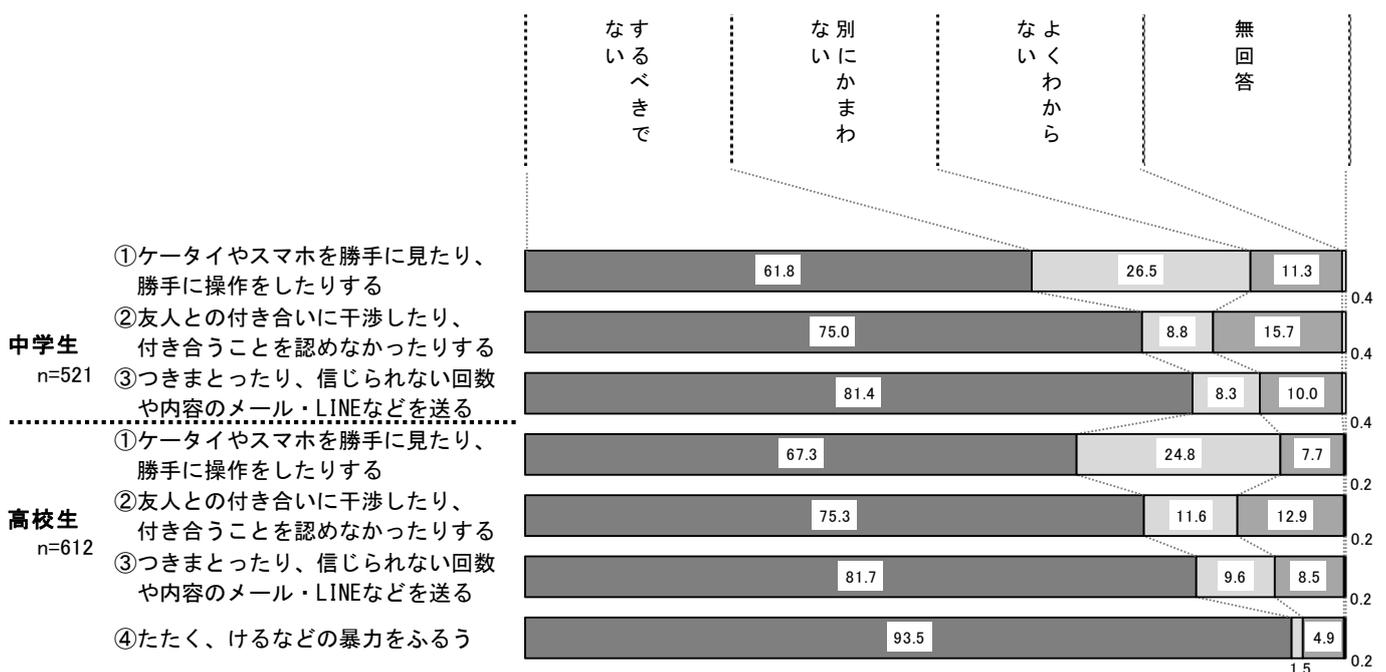
7-1 交際相手との間の暴力等について

問 14 あなたは、交際している異性との間で①～③（※高校生は①～④）のようなことについてどう思いますか。それぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆中学生・高校生ともに「つきまったり、信じられない回数や内容のメール・LINE などを送る」は「するべきでない」が約8割

◆高校生は「たたく、けるなどの暴力をふるう」で「するべきでない」が9割以上

		(%)			
中学生	①ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする	②友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする	③つきまったり、信じられない回数や内容のメール・LINE などを送る		
	するべきでない	61.8	75.0	81.4	
	別にかまわない	26.5	8.8	8.3	
	よくわからない	11.3	15.7	10.0	
高校生	①ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする	②友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする	③つきまったり、信じられない回数や内容のメール・LINE などを送る	④たたく、けるなどの暴力をふるう	
	するべきでない	67.3	75.3	81.7	93.5
	別にかまわない	24.8	11.6	9.6	1.5
	よくわからない	7.7	12.9	8.5	4.9



【中学生】(①~③)

「すべきでない」は「つきまったり、信じられない回数や内容のメール・LINE などを送る」(81.4%)で最も高く、次いで「友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする」(75.0%)で高くなっています。一方、「別にかまわない」は「ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする」で26.5%となっています。

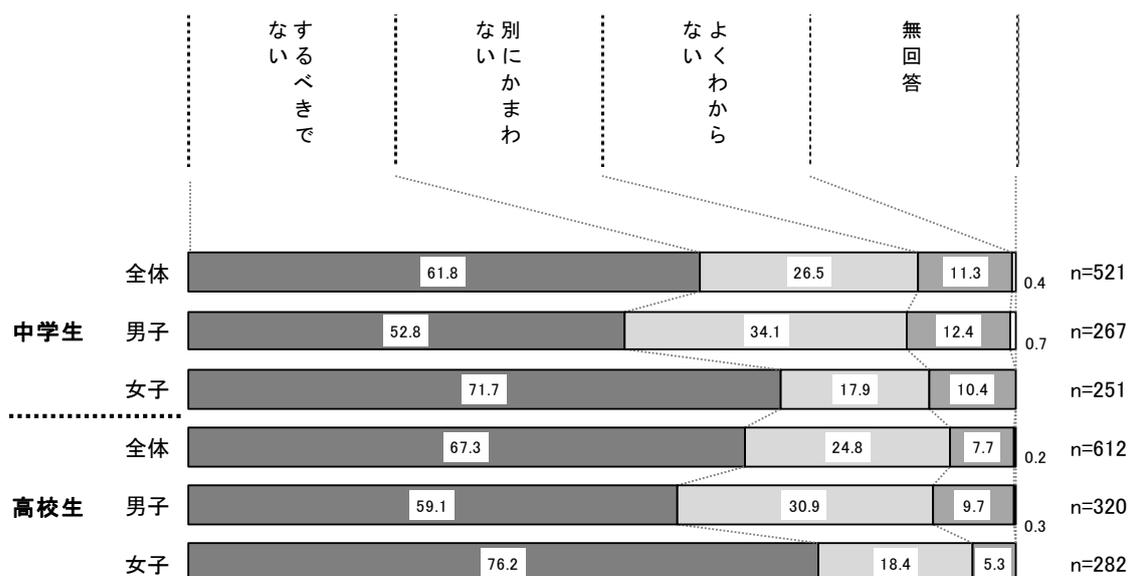
【高校生】(①~④)

「すべきでない」は「たたく、けるなどの暴力をふるう」(93.5%)で90%以上と高く、次いで「つきまったり、信じられない回数や内容のメール・LINE などを送る」(81.7%)で高くなっています。一方、「別にかまわない」は「ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする」で24.8%となっています。

<①ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする>

◆「すべきでない」は中学生61.8%、高校生67.3%

「別にかまわない」は中学生26.5%、高校生24.8%



【中学生】

「すべきでない」は61.8%、「別にかまわない」は26.5%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(71.7%)が男子(52.8%)より18.9ポイント高くなっています。

【高校生】

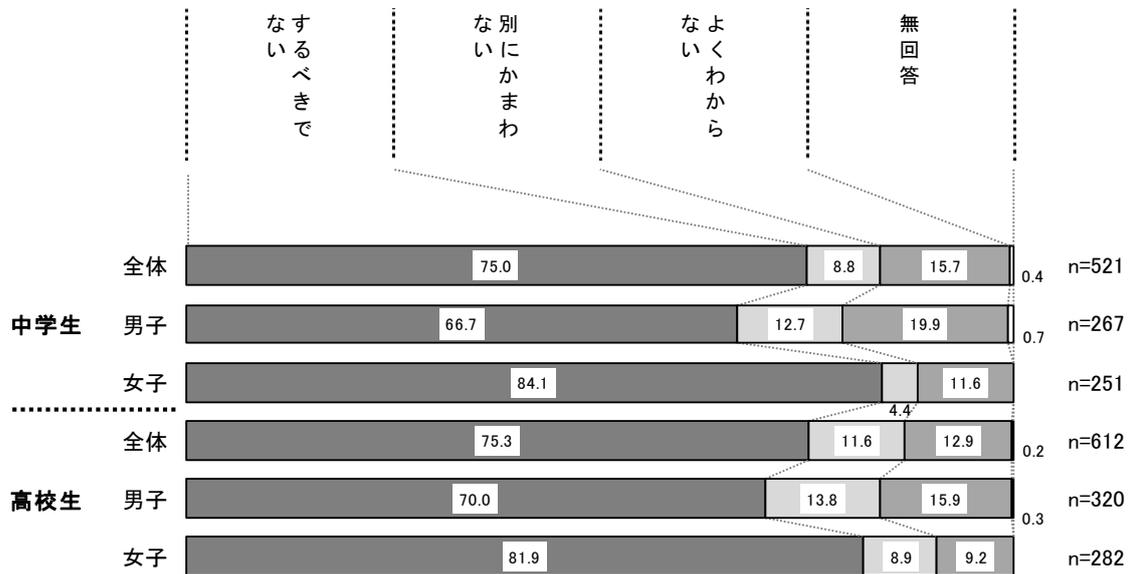
「すべきでない」は67.3%、「別にかまわない」は24.8%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(76.2%)が男子(59.1%)より17.1ポイント高くなっています。

<②友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする>

◆「すべきでない」は中学生 75.0%、高校生 75.3%

「別にかまわない」は中学生 8.8%、高校生 11.6%



【中学生】

「すべきでない」は 75.0%、「別にかまわない」は 8.8%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(84.1%)が男子(66.7%)より 17.4 ポイント高くなっています。

【高校生】

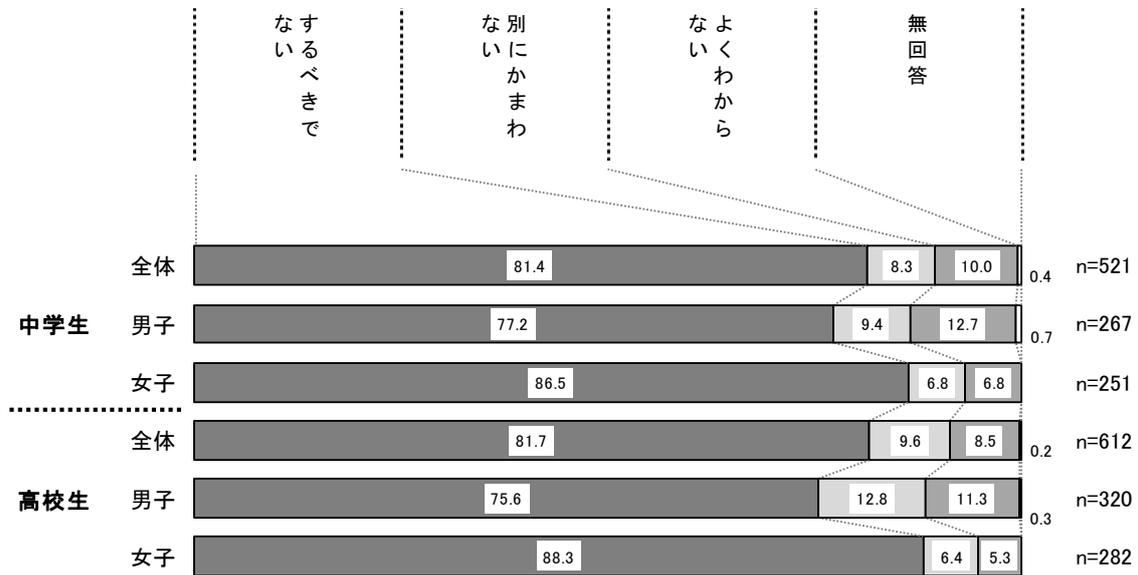
「すべきでない」は 75.3%、「別にかまわない」は 11.6%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(81.9%)が男子(70.0%)より 11.9 ポイント高くなっています。

<③つきまったり、信じられない回数や内容のメール・LINE などを送る>

◆「すべきでない」は中学生 81.4%、高校生 81.7%

「別にかまわない」は中学生 8.3%、高校生 9.6%



【中学生】

「すべきでない」は 81.4%、「別にかまわない」は 8.3%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(86.5%)が男子(77.2%)より 9.3 ポイント高くなっています。

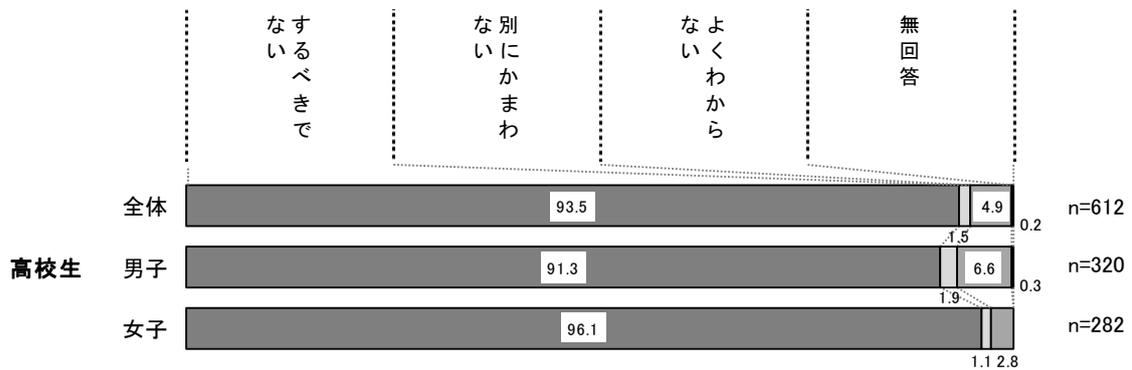
【高校生】

「すべきでない」は 81.7%、「別にかまわない」は 9.6%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(88.3%)が男子(75.6%)より 12.7 ポイント高くなっています。

<④たたく、けるなどの暴力をふるう>

◆ (高校生のみ) 「すべきでない」は93.5%、「別にかまわない」は1.5%



【高校生】

「すべきでない」は93.5%、「別にかまわない」は1.5%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(96.1%)が男子(91.3%)より4.8ポイント高くなっています。

【前回調査との比較】

●「すべきでない」の割合

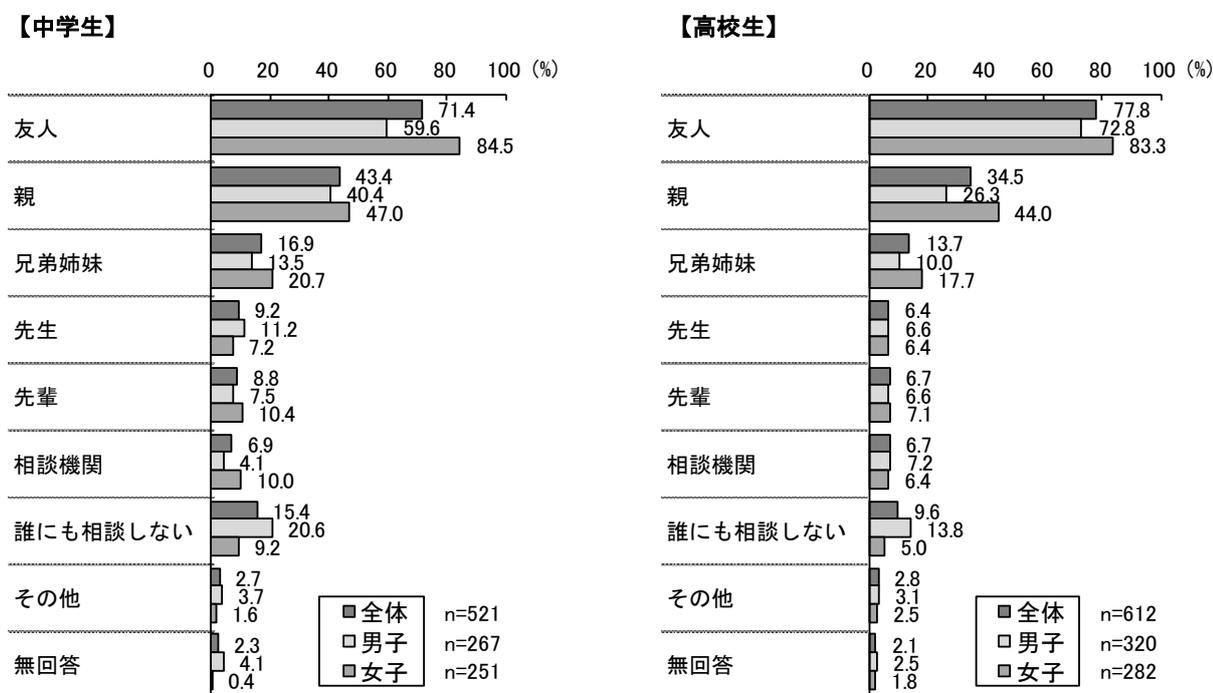
前回調査と比べて、中学生は「ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする」で15.0ポイント減少し、「友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする」で13.8ポイント増加しています。

高校生は「ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする」で19.8ポイント減少しています。

		(%)			
		①ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする	②友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする	③つきまったり、信じられない回数や内容のメール・LINEなどを送る	④たたく、けるなどの暴力をふるう
中学生	平成28年	61.8	75.0	81.4	—
	平成22年	76.8	61.2	77.1	—
	差	-15.0	13.8	4.3	—
高校生	平成28年	67.3	75.3	81.7	93.5
	平成22年	87.1	69.3	86.1	90.9
	差	-19.8	6.0	-4.4	2.6

問 14(1) 問 14 のようなことがあった場合、誰に相談しようと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

◆中学生・高校生ともに「友人」が7割以上で最も高い



【中学生】

「友人」(71.4%) が最も高く、次いで「親」(43.4%)、「兄弟姉妹」(16.9%) が高くなっています。また、「誰にも相談しない」は 15.4% となっています。

性別でみると、女子は「友人」(84.5%) が男子(59.6%) より 24.9 ポイント高く、男子は「誰にも相談しない」(20.6%) が女子(9.2%) より 11.4 ポイント高くなっています。

【高校生】

「友人」(77.8%) が最も高く、次いで「親」(34.5%)、「兄弟姉妹」(13.7%) が高くなっています。また、「誰にも相談しない」は 9.6% となっています。

性別でみると、女子は「親」(44.0%) が男子(26.3%) より 17.7 ポイント高く、「友人」(83.3%) も男子(72.8%) より 10.5 ポイント高くなっています。男子は「誰にも相談しない」(13.8%) が女子(5.0%) より 8.8 ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生の男子は「友人」(72.8%) が中学生の男子(59.6%) より 13.2 ポイント高く、中学生の男子は「親」(40.4%) が高校生の男子(26.3%) より 14.1 ポイント高くなっています。

8 市の男女共同参画の取り組みについて

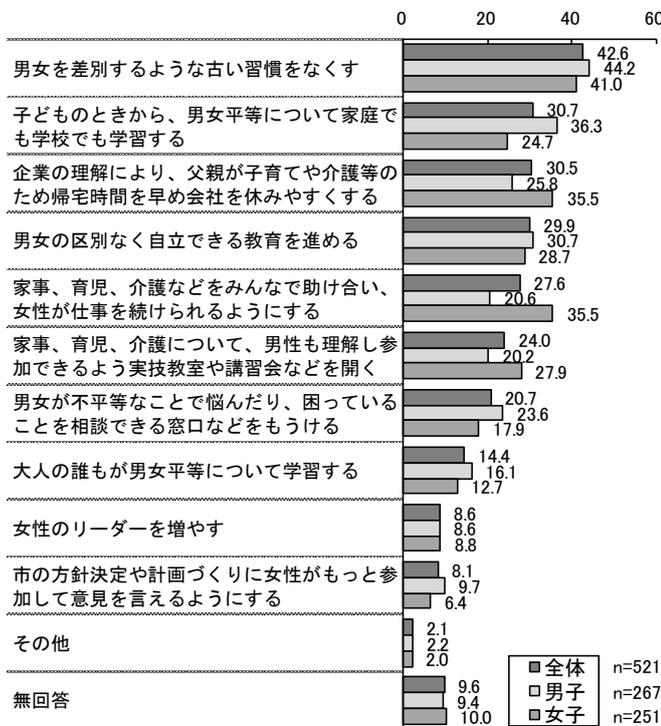
8-1 男女共同参画社会の実現のために市が注力すべきこと

問15 春日井市では、女だから男だからと決めつけしないで、誰もがその人らしく個性や能力を發揮することができる「男女共同参画社会」の実現を目指しています。

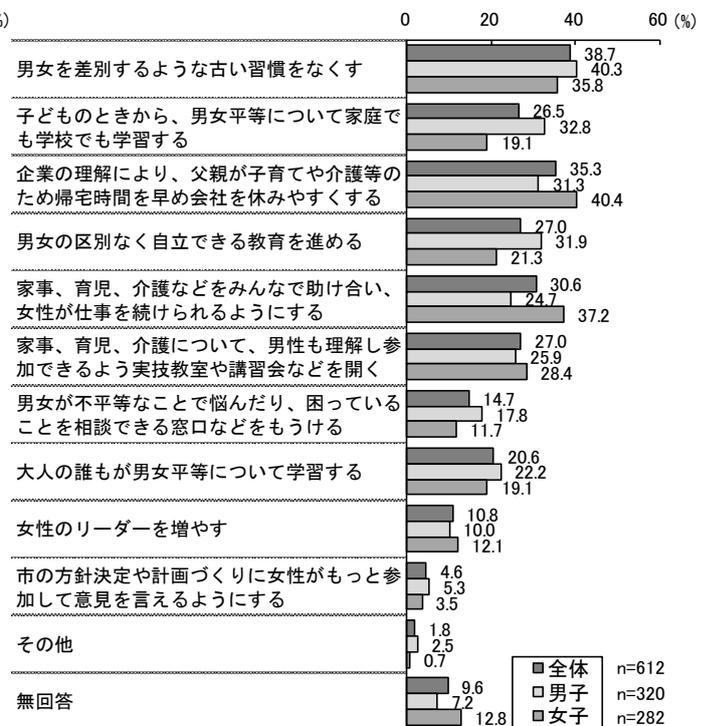
これから、どのようなことに力を入れて取り組むといいと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○印)

◆中学生・高校生ともに「男女を差別するような古い習慣をなくす」が約4割で最も高い

【中学生】



【高校生】



【中学生】

「男女を差別するような古い習慣をなくす」(42.6%)が最も高く、次いで「子どものときから、男女平等について家庭でも学校でも学習する」(30.7%)、「企業の理解により、父親が子育てや介護等のため帰宅時間を早め会社を休みやすくする」(30.5%)が高くなっています。

性別で見ると、男子は「子どものときから、男女平等について家庭でも学校でも学習する」(36.3%)が女子(24.7%)より11.6ポイント高く、女子は「家事、育児、介護などをみんなで助け合い、女性が仕事を続けられるようにする」(35.5%)が男子(20.6%)より14.9ポイント高くなっています。

【高校生】

「男女を差別するような古い習慣をなくす」(38.7%)が最も高く、次いで「企業の理解により、父親が子育てや介護等のため帰宅時間を早め会社を休みやすくする」(35.3%)、「家事、育児、介護などをみんなで助け合い、女性が仕事を続けられるようにする」(30.6%)が高くなっています。

性別で見ると、男子は「子どものときから、男女平等について家庭でも学校でも学習する」(32.8%)が女子(19.1%)より13.7ポイント高く、女子は「家事、育児、介護などをみんなで助け合い、女性が仕事を続けられるようにする」(37.2%)が男子(24.7%)より12.5ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生は「大人の誰もが男女平等について学習する」(20.6%)が中学生(14.4%)より6.2ポイント高くなっています。

9 自由意見

(とりまとめ中)

資料

1 クロス集計表

2 調査票

(使用調査票3種類を掲載予定)